

令和4年度
長野県木材青壮年団体連合会

第4回定例理事会



令和5年2月18日(土)
長野市 長野県林業センター

日本木材青壮年団体連合会 綱領・会歌

綱 領

われわれ木青連は

おなじ世代の木材人として
交流を深め相互の啓発につとめよう

若い英知と情熱を結集し
不屈の精神をもって行動しよう

木材界の発展を通じ
よりよい社会を建設しよう

会 歌

一、木を愛し木と共に

暮らしの基を 育くみて

未来のために世のために

広く普及^{った}えた 木の香り

ああ 我ら

木青連の心意気

二、木を学び 木に求め

あまねく同志^{とも}と たずさえて

相互^{たがい}の力 結びあい

文化日本を 拓くのは

ああ 我ら

木青連の理想なり

三、木に育ち 豊かさを

伸びゆく我ら 若人が

若き叡知と 情熱で

明日の社会を 築くのは

ああ 我ら

木青連の使命なり

令和4年度 第4回定例理事会 次第

日 時：令和5年2月18日（土） 13:20～15:20
場 所：長野市 長野県林業センター5階 503会議室

- 1 開会の辞
- 2 会歌斉唱・綱領唱和
- 3 出席者確認
- 4 会長挨拶
- 5 直前会長挨拶
- 6 資料確認及び字句訂正
- 7 連絡報告事項
 - (1) 会議事業経過報告
 - (2) 日本木青連 連絡報告事項
 - (3) 出向者活動報告
 - (4) 正副会長・事務局連絡事項
 - ・PR事業報告書提出のお願い
 - ・県補助事業（木工体験活動指導者派遣）について
 - ・令和4年度木青連だより 原稿依頼等について
 - ・令和5年度 会員手帳記載事項調査協力
- 8 議長指名
- 9 議事
 - (1) 開会宣言
 - (2) 議事録作成人指名
 - (3) 定足数確認
 - (4) 議案採択

第1号議案	令和4年度 第3回定例理事会議事録（案）承認の件
第2号議案	令和4年度 PRカレンダー幹旋事業決算報告（案）承認の件
第3号議案	令和4年度 長野県児童・生徒木工工作コンクール決算報告（案）承認の件
第4号議案	令和5年度 長野県木青連役員・出向者（案）承認の件
第5号議案	令和5年度 理事予定者会議開催（案）承認の件
第6号議案	令和5年度 県会員東信大会開催（案）承認の件
- 10 協議事項
 - (1) 北信越地区協議会長野大会について
 - (2) 県木連青壮年部会（仮）について
- 11 会団事業・活動報告
- 12 監事講評
- 13 閉会の辞

会議・事業経過報告

2月	22日	長野県木青連 日木出向者選定会議		WEB会議
3月	4日	日本木青連 理事予定者会議・委員会		WEB会議
3月	5日	日本木青連 第7回理事会		WEB会議
3月	5日	日本木青連 第134回臨時総会		WEB会議
3月	29日	長野県緑の基金 評議委員会		書面表決
4月	9日	長野県木青連 理事予定者会議		WEB会議
4月	13日	長野県林務部・中部森林管理局新年度挨拶廻り	長野	長野県・中部森林管理局
4月	15日	新任挨拶廻り(常任理事以上)	東京	
4月	16日	日本木青連 第1回理事会(東京WEB会議)	東京	WEB会議
4月	27日	長野県林業団体協議会通常総会	長野	長野県林業センター
4月	27日	森林・林業施策懇談会(春)・長野県林務部	長野	長野県林業センター
4月	27日	中部森林管理局と長野県林業団体との懇談会	長野	長野県林業センター
5月	9日	長野県木青連 監査	長野	長野県木連
5月	14日	長野県木青連 令和3年度臨時理事会		WEB会議
5月	14日	長野県木青連 臨時理事予定者会議		WEB会議
5月	14日	長野県木青連 定時総会		WEB会議
5月	27・28日	第67回全国会員北海道大会	北海道	カナモトホール・札幌グランドホテル
5月	31日	長野県木材産業政治連盟 通常総会	長野	ホテル信濃路
6月	22日	長野県緑の基金 評議委員会	長野	長野県林業センター
7月	5日	長野県県産材振興対策協議会 通常総会		書面表決
7月	8日	長野県木材産業振興基金 通常総会		書面表決
7月	9日	長野県木青連 第1回理事会	長野	林業センター
7月	21日	あべ守一出陣式	長野	ホテル国際21
7月	24日	信州山の日イベント2022 木工教室	安曇野市	国営アルプスあずみの公園(大町・松川地区)
8月	12日	全国会員長野大会実行委員会 準備会議	長野	長野県林業センター
8月	20日	長野県木青連 第2回理事会		WEB会議
8月	20日	全国会員長野大会実行委員会①		WEB会議
8月	28日	ビアフェス木工教室	佐久市	佐久市交流広場
9月	14日	令和5年度 日本木青連執行部準備会議①		WEB会議
9月	17日	日本木青連 第3回理事会	仙台	ハイブリット会議
9月	24日	令和5年度 日本木青連専務理事選出会議		WEB会議
9月	26日	令和5年度 日本木青連執行部準備会議②		WEB会議
9月	29日	長野県木連との懇談会	長野	長野県林業センター
10月	7日	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会	塩尻市	長野県林業総合センター
10月	17日	令和5年度 日本木青連執行部準備会議③		WEB会議
10月	19日	全国会員長野大会実行委員会②		WEB会議
10月	22日	長野市農業フェア木工教室	長野市	ビックハット
10月	27日	令和5年度 日本木青連執行部準備会議④		WEB会議
11月	5日	北信越地区協議会in長野	長野市	長野県林業センター

11月	13日	作ってつながる！木育ワークショップ	長野市	南長野運動公園
11月	16日	県木連青年部会(仮)説明会	木曽	木曽木材工業協同組合
11月	19日	日本木青連 第4回理事会	名古屋	ハイブリット会議
11月	19日	日本木青連 第136回臨時総会	名古屋	ハイブリット会議
11月	26日	長野県木青連 第3回理事会	長野市	長野県立美術館
11月	26日	長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式	長野市	長野県立美術館
12月	12日	OB会会長との懇談	長野市	(株)住まいのクラサワ
12月	12日	県木連青年部会(仮)検討委員会②	長野市	長野県林業センター
12月	12日	農政林務委員会との懇談会	長野市	県庁議会棟
1月	14日	日本木青連 第5回理事会		WEB会議
1月	26日	県木連青年部会(仮)検討委員会③	安曇野市	安曇野スイス村サンモリッツ
1月	27日	役員選考委員会		WEB会議
1月	27日	全国会員長野大会実行委員会③		WEB会議
2月	4日	北信越地区協議会金沢大会	石川県	金沢東急ホテル
2月	18日	長野県木青連 第4回理事会	長野市	長野県林業センター
2月	18日	全国会員長野大会実行委員会④	長野市	長野県林業センター

スローガン「結—ゆい—、そして次世代へ」
～会員同士が支え合える日本木青連をめざして～

はじめに

「結—ゆい—」とは結合の意で、交換的な共同労働を指します。この特徴は、労力の提供に対し金や物でなく労力で返すという事です。様々な事象をみんなで力を合わせて成し遂げていく様を表しています。

令和5年度日本木青連活動の幕開けです。近年は新型コロナウイルス感染症、ウッドショック、ロシアによる軍事侵攻、記録的な円安と様々な局面を迎え、経済も時代も多岐に変化しています。激動の世の中ですが、我が業界はこの変化を追い風と捉えるべきと考えます。その追い風にしっかりと乗って行くには、1人の力では足りません。そこで、改めて日本木青連の若き英知と情熱を結集することが必要不可欠です。

令和5年度の日本木青連は、3本の柱を掲げていきます。

① 歴史ある事業の継続と新たな事業の模索

長年続く全国児童木工工作コンクール、木材活用コンクールは、変化を持たせながらしっかりと次世代に引き継ぐために継続して行います。それと共に、時代の流れに沿ったDXの構築を目指し、新たな事業を模索します。

② 会員数の拡大

今年度は仲間を増やすべく、各地域の同業他団体（県木連、県木材協同組合等）と連携し会員拡大の基礎を作ります。また他団体（素材生産業協同組合、林業経営者協会、全国工務店協会 JBN 等）とも積極的に交流し連携、協業の可能性を図ります。会員を増やし次世代に続く組織づくりを目指します。

③ 経営を学び、強みを活かす

前述したとおり、現状経済環境はとても良いとは言えない状況です。各会員の皆様も様々な悩みを抱えていると思います。日本木青連の活動に参加し、仲間と語り合い、小さなヒントでも良いので持ち帰り、しっかりとした企業経営をすることが次世代の日本木青連に繋がると考えます。そして各企業の強みは何かを把握し、「結」の語源にあるように、みんなで支え合い、企業力を交換し合い、次世代に繋がる企業を創っていきましょう。

「日本木青連で心を高め、経営を伸ばしましょう！」

日本木青連は先人の方々が「業界振興の担い手育成」を目的に創立した団体です。今まさに担い手育成の場としての木青連が求められていると考えます。歴史を創るのは我々です。今一度原点に立ち返り、会員それぞれが共に学び、声高らかに議論し交流を深め、木材業界発展の担い手としてどうあるべきかを考え、共に行動していきましょう。

我々の原点である日本木青連綱領に想いを記載しました。

- **同じ世代の木材人として交流を深め
相互の啓発につとめよう**

理事会、地区大会、全国大会などの場を通じ
仲間を増やし、大いに語り、学び合きましょう！
一人ではできない事がきっとみつかります。
心を高め、経営を伸ばしていきましょう！

- **若い英知と情熱を結集し
不屈の精神をもって行動しよう**

若い時にできる事を最大限引き出す場を
日本木青連は提供しています。
誰もが可能性を秘めています。
それを発揮するきっかけづくりになれる場を
みんなで作っていきましょう！

- **木材界の発展を通じよりよい社会を建設しよう**

私たち日本木青連が事業を行うことで次世代に誇れる
社会を作れるなんて素敵なことじゃないですか。
共に業界発展のため全力で取り組みましょう！

日本木材青壮年団体連合会 令和5年度会長予定者 島田 直政

《基本方針》

- ・各地区で同業他団体との連携を強化
- ・温故知新。歴史ある事業を継続・発展する
- ・仲間と共に企業経営の在り方を学び、自社の強みを探しお互い交換し合う
- ・次世代を担う業界経営者の育成

《運営方針》

- ① 各事業効果を高める運営 ・全委員会の活性化 ・多様な理事会、委員会への参画 ・会員相互の親睦
- ② 木材利活用の発信 ・他団体と連携した木材に対する情報発信 ・木材業界の現場、実態に併せた政策提言 ・木材利用に共感するエンドユーザー向けの発信
- ③ 自社の強みをしっかりと見極め、強みを活かした企業経営の在り方を共有、醸成
- ④ メンバー間の交流や事業の促進 ・各地区・会団に対する事業支援 ・近年、国内で慢性的に発生する大規模災害時への必要な支援・対応

《活動方針》

1. 日本木青連が主催し地区協議会・単位会団に協力を依頼して行う事業
 - 1) 第68回全国会員高知大会への協力と参画
 - 2) 第69回全国会員長野大会
 - 3) 第48回全国児童・生徒木工工作コンクール
 - 4) 第27回木材活用コンクール
 - 5) 会員の全てに情報がいきわたる木青連活動の広報（内部・外部）
 - 6) 景況調査の提案と実施
 - 7) 林野庁他各関係省庁及び関係諸団体との情報交換会
 - 8) 各部会との連携
 - 9) 同業他団体との交流、連携、提携
 - 10) 他業種団体との交流、連携、提携
 - 11) 企業経営勉強会の開催
 - 12) DXの推進
 - 13) その他、上記に付帯する事項
2. 日本木青連が会を運営し活動を進めるために開催する会議等
 - 1) 定時総会
 - 2) 臨時総会
 - 3) 常任理事会
 - 4) 理事会
 - 5) 各委員会
 - 6) 全国会団長会議

3. 日本木青連が提唱し、地区協議会・単位会団と共に行う根幹となる運動と事業
 - 1) 社会課題解決としての木材利用の意義を普及・啓発する事業
 - 2) 木青連の会員拡大の推進のため、業界他団体との連携、情報の共有化
 - 3) 木青 NET の更新・木青連活動の PR 事業
 - 4) 時代に合わせた会員相互間の情報発信・情報提供、経営勉強会
 - 5) 業界の枠を超えた各民間諸団体・関連省庁との横断的交流
 - 6) 環境意識の変化に伴う新たな政策提言

令和4年度PR事業報告書

会 団 名 _____

1. 事業名

2. 日 時

3. 場 所

4. 参加者数（来場者数）

子供 人

大人 人

5. 木青連出席者氏名

6. 内容・題材

7. 添付資料

・写真添付

（jpg データで送ってください。※1枚1枚のデータに、イベント名を記載してください。）

複数の事業を行う場合は本紙をコピーの上、1事業1枚の報告書を提出して下さい。
（提出期限：令和5年1月末日まで）

8. 収支精算書

収入の部

科 目	金 額	摘 要
合 計		

支出の部

科 目	金 額	摘 要
合 計		

(教材費・材料費、会場費、パンフレット代、テキスト代、道具代、
弁当代、雑費、などの項目別に記入して下さい)

※県の補助事業の対象となりますので、領収書については宛先を長野県木青連としてください。

また、但し書きと日付も必ず入れてください。

口 座	金融機関		口座番号	
	口座名義人		普通・当座	

提出期限 令和5年1月末日（必着）

【領収書のコピー添付欄】

会 団 名 長野県木青連

1. 事業名

信州山の日イベント[木工教室]

2. 日 時

令和〇年7月〇日（日）
9:30～16:30

3. 場 所

〇〇市 〇〇高原

4. 参加者数（来場者数）

子供 100人
大人 90人

5. 木青連出席者氏名

長野 太郎（終日）
信州 一郎（終日）
松本 太郎（午前）
上田 一郎（午前）

6. 内容・題材

木工教室を開催。

・ミニ椅子づくり（イスキット） 100セット

《講師内容》

① イスの作り方（5分）木青連

② イス作り開始（45分）※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

7. 添付資料

・写真添付

（jpg データで送ってください。※1枚1枚のデータに、イベント名を記載してください。）



式典風景



木工教室



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）

複数の事業を行う場合は本紙をコピーの上、1事業1枚の報告書を提出して下さい。
（提出期限：令和5年1月末日まで）

8. 収支精算書

収入の部

科 目	金 額	摘 要
PR事業費	115,576 円	
合 計	115,576 円	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
材料費	81,000 円	県産材（杉）イス材料 810 円×100 セット
加工費	16,200 円	イス材料加工 162 円×100 セット
搬入費	5,000 円	運搬費（搬入・搬出）
備品、雑費 など	11,000 円	受付簿、整理券、会員紹介・木青連 PR チラシ印刷等
印刷費	2,376 円	受付簿、整理券等印刷
合 計	115,576 円	（税込）

（教材費・材料費、会場費、パンフレット代、テキスト代、道具代、弁当代、雑費、などの項目別に記入して下さい）

※県の補助事業の対象となりますので、領収書については宛先を長野県木青連としてください。

また、但し書きと日付も必ず入れてください。

口 座	金融機関	八十二銀行 ○○支店	口座番号	No.000000000
	口座名義人	長野県木青連	普通・当座	普通

提出期限 令和5年1月末日（必着）

【領収書のコピー添付欄】

領 収 書

¥ _____ 円
但し、.....

令和 年 月 日

領 収 書

¥ _____ 円
但し、.....

令和 年 月 日

領 収 書

¥ _____ 円
但し、.....

令和 年 月 日

令和 4 年度
木工体験活動指導者派遣 実績報告書

No.	日時	イベント名	場所	内容	対象者	参加人数	活動主体	指導者	時間	単価	計	支払金額 ※1	備考						
1	令和4年7月24日(日) 8時30分～16時30分	信州山の日2022	大町市 国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)	木育事業の一環として、県産材(杉)の椅子づくりを通して、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら「ものを作る喜び」を知ってもらうとともに、森林の役割や木材の良さ及び利用方法等について学んでもらう。	国営アルプスあづみの公園イベント・信州山の日イベント2022来場者	60組 191名 子供94名 大人97名	長野県木材青壮年団体連合会	坂田 庄蔵(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								澁澤 一吉(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								田村 紘一(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								中嶋 章(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								大藏 俊介(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								田中 一興(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								池田 剛(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								石亀 道一(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
小計											99,200 円								
								8 名											
2	令和4年8月28日(日) 8時15分～16時30分	ピアフェス2022	佐久市 佐久市交流広場	木育事業の一環として、県産材(杉)の椅子づくりを通して、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら「ものを作る喜び」を知ってもらうとともに、森林の役割や木材の良さ及び利用方法等について学んでもらう。	ピアフェスイベント来場者	60組 147名 子供70名 大人77名	長野県木材青壮年団体連合会	澁澤 一吉(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								田村 紘一(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								由井 正宏(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								中嶋 章(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								小林 寿徳(東信木青連・上小支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								島田 直政(東信木青連・上小支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								田中 博文(東信木青連・上小支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								石亀 道一(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
小計											99,200 円								
								8 名											
3	令和4年10月15日(土) 12時00分～15時00分	海野町商店街イベント	上田市 海野町商店街	木のぬくもりを感じながら自分の手で木製品を作り上げる喜びを体験し、木製品の良さや生活の中に多く取り入れるきっかけ作りの場の提供。	幼児から小学生の親子連れの皆様	100組 200名 子供100名 大人100名	海野町商店街振興組合	荻原 幸徳(上田大工組合)	3 h	3,100 円	9,300 円	9,300 円	謝金						
								小河原 静人(上田大工組合)	3 h	3,100 円	9,300 円	9,300 円	謝金						
								上原 直義(上田大工組合)	3 h	3,100 円	9,300 円	9,300 円	謝金						
								小計										27,900 円	
																3 名			
4	令和4年10月22日(土) 8時30分～15時00分	2022長野市農業フェア	長野市 ビッグハット 玄関前広場	木育事業の一環として、県産材(杉)の椅子づくりを通して、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら「ものを作る喜び」を知ってもらうとともに、森林の役割や木材の良さ及び利用方法等について学んでもらう。	長野市農業フェア来場者	50組 75名 子供38名 大人37名	長野県木材青壮年団体連合会	坂田 庄蔵(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								澁澤 一吉(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								宮澤 薫(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								田村 紘一(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	貸金						
								小計										49,600 円	
																4 名			

北信木青連 74,400 円
 東信木青連・上小支部 37,200 円
 東信木青連・佐久支部 74,400 円
 松本材青会 62,000 円
 合計 248,000 円

※1:「木工体験活動指導者派遣事業 実施要領」第6の2により、4時間(12,400円)を超える場合、一律12,400円とする。

【振込先・金額】

所属名	金額	送金手数料	口座名義	金融機関	口座番号
北信木青連	74,400 円		北信木青連 代表 深澤 猛	八十二銀行 南長池支店	普通 No.198572
東信木青連(上小支部)	37,200 円		上小木青連 会長 島田直政	長野県信用組合 上田支店	普通 No.8384855
東信木青連(佐久支部)	74,400 円		唐松会	八十二銀行 小諸支店	普通 No.819014
松本材青会	62,000 円		松本材青会	八十二銀行 村井支店	普通 No.429163
合計	248,000 円	0 円			

令和 4 年度
木工体験活動指導者派遣 実績報告書

会団名	行事名	日 時	場 所	指 導 者	時間	単 価	計	支払金額 ※1	備 考
北信木青連	国営アルプスあづみの公園イベント 信州山の日イベント2022	令和4年7月24日(日) 8時30分～16時30分	大町市 国営アルプスあづみの公園 (大町・松川地区)	坂田 庄蔵(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				澁澤 一吉(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
	ピアフェス2022	令和4年8月28日(日) 8時15分～16時30分	佐久市 佐久市交流広場	澁澤 一吉(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
	長野市農業フェア2022	令和4年10月22日(土) 8時30分～15時00分	長野市 ビッグハット 玄関前広場	坂田 庄蔵(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				澁澤 一吉(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				宮澤 薫(北信木青連)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
							0 円	0 円	賃金
							0 円	0 円	賃金
							0 円	0 円	賃金
							0 円	0 円	賃金
合 計								74,400 円	

集計	坂田 庄蔵(北信木青連)	24,800 円
	澁澤 一吉(北信木青連)	37,200 円
	宮澤 薫(北信木青連)	12,400 円

※1：「木工体験活動指導者派遣事業 実施要領」第6の2により、4時間（12,400円）を超える場合、一律12,400円とする。

令和 4 年度
木工体験活動指導者派遣 実績報告書

会団名	行事名	日 時	場 所	指 導 者	時間	単 価	計	支払金額 ※1	備 考
東信木青連 (上小支部)	ビアフェス2022	令和4年8月28日(日) 8時15分～16時30分	佐久市 佐久市交流広場	小林 寿徳 (東信木青連・上小支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				島田 直政 (東信木青連・上小支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				田中 博文 (東信木青連・上小支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
合 計								37,200 円	

集計	小林 寿徳 (東信木青連・上小支部)	12,400 円
	島田 直政 (東信木青連・上小支部)	12,400 円
	田中 博文 (東信木青連・上小支部)	12,400 円

※1：「木工体験活動指導者派遣事業 実施要領」第6の2により、4時間（12,400円）を超える場合、一律12,400円とする。

令和 4 年度
木工体験活動指導者派遣 実績報告書

会団名	行事名	日 時	場 所	指 導 者	時間	単 価	計	支払金額 ※1	備 考
東信木青連 (佐久支部)	国営アルプスあづみの公園イベント 信州山の日イベント2022	令和4年7月24日(日) 8時30分～16時30分	大町市 国営アルプスあづみの公園 (大町・松川地区)	田村 紘一(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				中嶋 章(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
	ビアフェス2022	令和4年8月28日(日) 8時15分～16時30分	佐久市 佐久市交流広場	田村 紘一(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				由井 正宏(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				中嶋 章(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
	長野市農業フェア2022	令和4年10月22日(土) 8時30分～15時00分	長野市 ビッグハット 玄関前広場	田村 紘一(東信木青連・佐久支部)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
	合 計								74,400 円

集計	田村 紘一(東信木青連・佐久支部)	37,200 円
	中嶋 章(東信木青連・佐久支部)	24,800 円
	由井 正宏(東信木青連・佐久支部)	12,400 円

※1：「木工体験活動指導者派遣事業 実施要領」第6の2により、4時間(12,400円)を超える場合、一律12,400円とする。

令和 4 年度
木工体験活動指導者派遣 実績報告書

会団名	行事名	日 時	場 所	指 導 者	時間	単 価	計	支払金額 ※1	備 考
松本材青会	国営アルプスあづみの公園イベント 信州山の日イベント2022	令和4年7月24日(日) 8時30分～16時30分	大町市 国営アルプスあづみの公園 (大町・松川地区)	大藏 俊介(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				田中 一興(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				池田 剛(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
				石亀 道一(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
	ピアフェス2022	令和4年8月28日(日) 8時15分～16時30分	佐久市 佐久市交流広場	石亀 道一(松本材青会)	4 h	3,100 円	12,400 円	12,400 円	賃金
合 計								62,000 円	

集計	池田 剛(松本材青会)	12,400 円
	石亀 道一(松本材青会)	24,800 円
	田中 一興(松本材青会)	12,400 円
	大藏 俊介(松本材青会)	12,400 円

※1：「木工体験活動指導者派遣事業 実施要領」第6の2により、4時間（12,400円）を超える場合、一律12,400円とする。

令和4年度 木工体験活動指導者派遣事業 実施要領

長野県木材青壮年団体連合会
令和4年6月22日

(目的)

第1 地域で行われる木工教室等へ地域材利用に関する知識を持つ者を「木工体験活動指導者」(以下「指導者」という。)として派遣し、木工体験活動の支援をすることを目的とする。

(木工体験活動指導者)

第2 指導者は、地域材利用に関する知識を有し、県内に居住している者とする。

(派遣の対象活動)

第3 参加者に森林の役割やその利用方法等学びながら、木材の良さを体感してもらい、県内各地域で行われる県産材を用いた木工体験活動。

(活動支援)

第4 長野県木材青壮年団体連合会(以下「長野県木青連」という。)は、第2に掲げる者で長野県木青連会長認めた指導者を派遣し木工体験活動を支援するものとする。

2 指導者へは、長野県木青連が予算の範囲内で定められた額を賃金又は報償費として支払うこととする。

3 前項の経費(賃金又は報償費)については、別に定める。

(手続き等)

第5 指導者の派遣については、次により行うものとする。

(1) 派遣の申請

指導者の派遣を希望する活動主体等は、活動希望日の15日前までに指導者派遣(様式第1号)により長野県木青連会長へ提出するものとする。

なお、活動主体等は、長野県木青連会長から指導者の紹介を受けることができる。

(2) 派遣の決定

長野県木青連会長は、提出された指導者派遣が適当と認められる場合は、活動主体等に対して適当である旨の通知をするものとする。(様式第2号)

(3) 活動の報告

指導者の派遣を受けた活動主体等は、活動終了後1ヶ月以内に指導者活動結果報告書(様式第3号)により、長野県木青連会長へ活動結果を報告するものとする。

(4) 活動支援の支払い

活動主体等より、活動の報告が提出され内容等適当と認められる場合は、活動支援の支払いを通知とともにするものとする。(様式第4号)

(長野県木青連が行う活動)

第6 長野県木青連は、自ら行う木工体験活動についても、第2に掲げる者へ指導を依頼することができる。

2 指導者への賃金又は報償費の支払いは、第4に準じるものとする。

(補則)

第7 この要領に定めるもののほか、この要領の施行に際し必要な事項は、長野県木青連会長が定める。

附 則

この要領は、令和4年6月22日から施行する。

(別添)

1. 指導者活動経費等

項目	単価	備考
報償費	1時間 3,100円	交通費含む ※ただし、最大4時間(12,400円)を上限とする。 注) 木青連会員以外の方が対象
賃金	1時間 3,100円	交通費含む ※ただし、最大4時間(12,400円)を上限とする。 注) 木青連会員が対象

2. 事業完了日

本事業による木工体験活動指導者支援は、令和5年2月15日までとする。

長野県木材青壮年団体連合会 会長 様

(申請者)
住 所
名 称
代表者名

印

木工体験活動を下記のとおり行いたいので、指導者の派遣を希望します。

記

1 木工体験活動の概要

日 時	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
場 所	
対 象 者	
参加予定人数	子ども 人 大人 人 合計 人
内 容	

2 派遣を希望する指導者

指導者人数	名
指 導 者	<input type="checkbox"/> 貴会が指定する者 <input type="checkbox"/> 当方が指定する者 ① ② ③

3 連絡先

名 称	
担当者氏名	
電 話	
F A X	
備 考	

申請者 様

長野県木材青壮年団体連合会
会長 田村 紘一

先に木工体験活動の提出があったこのことについて、

下記のとおり派遣します

都合により派遣を見送ります

記

1 木工体験活動の概要

日 時	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
場 所	
対 象 者	
参加予定人数	子ども 人 大人 人 合計 人
内 容	

2 派遣する指導者

指導者人数	名
指 導 者	

長野県木材青壮年団体連合会 会長 様

(申請者)
住 所
名 称
代表者名

印

下記のとおり活動結果を報告します。

記

1 木工体験活動の概要

日 時	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
場 所	
対 象 者	
参加人数	子ども 人 大 人 人 合計 人
内 容	

2 派遣指導者

指導者人数	名
指 導 者	

3 連絡先

名 称	
担当者氏名	
電 話	
F A X	
備 考	

※添付資料：活動状況等がわかる写真3～5枚程度添付

(振込先口座登録)

令和 4 年度

木工体験活動指導者派遣事業 活動費振込先口座

フリガナ		
口座名義人		
金融機関		
預金種別		
口座番号		
連絡先 (担当者等)	住所	
	TEL	
	担当者名	

申 請 者 様

長野県木材青壮年団体連合会
会 長 田 村 紘 一

先に木工体験活動結果の報告があったこのことについて、以下のとおり確定いたしましたので、活動支援をお振込みいたします。

なお、下記金額は、課税所得とみなされるので、税金の納付は各自で行ってください。

記

1 活動支援

指導者	活動時間	単価	計 (a)	お支払金額 (最高 12,400 円)
	時間	3,100		
	時間	3,100		
	時間	3,100		
	時間	3,100		
	時間	3,100		
合 計				

2 お振込み金額

金	円
---	---

※上記金額は、課税所得とみなされるので、税金の納付は各自で行ってください。

令和5年2月18日

令和4年度 長野県木青連だより原稿提出について

1] 掲載内容

1 令和4年度 事業内容

- (1) 会長指針・基本方針・スローガン・事業計画
- (2) 組織図
- (3) 会議・事業経過報告
- (4) 出向者
- (5) 事業報告
 - ① 木工工作コンクール
 - ② 信州山の日イベント2022
 - ③ ビアフェス
 - ④ 長野市農業フェア
 - ⑤ 木育ワークショップ（南長野青年会議所主催）
 - ⑥ 各会団PR事業報告
 - ⑦ その他

2 今年一年間をふりかえって 原稿提出者

会長・直前会長・会長代行副会長・副会長・各会団長・日本木青連出向者

2] 「今年一年間をふりかえって」の原稿提出について（800字程度でお願い致します）

この一年間の木青連活動をふりかえって、まとめて提出して下さい。

会団長は、会団の活動状況もまとめて提出して下さい。

また、写真・新聞記事等、データでご提出をお願い致します。

※ 提出期限 **3月31日（金）（期日厳守）**

※ 提出先 長野木青連 事務局長 中嶋 章

TEL：0267-67-4038 FAX：0267-67-3307

携帯：090-7901-1372 E-mail:info@nakajima-sc.com

**注）ワードで作成していただき、メールにてお願い致します。
写真等は、jpgにてお願いします。必ずどの写真か明記してください。**

令和5年 2月 吉日

会团长各位



長野県青壮年団体連合会事務局より

2023年度『会員手帳記載事項』調査ご協力をお願い

拝啓 春寒の候、会团长の皆様方にはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
 日頃より、県木連活動におきましては、格別なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、この度2023年度の会員手帳を作成するにあたり「会員手帳記載事項」の調査を行います。
 何かとお忙しいとは存じますが、別紙項目に記入、会員人数取りまとめの上、**3月11日**までにFAXまたはE-mail（写真変更の際、写真はjpgデータで送ってください）にて下記連絡先までお送り下さい。尚、返信がない場合は変更なしとして、2022年度の内容をそのまま掲載いたしますのでご了解願います。

敬具

【記入例】

会 団 名	北信木青連		
4箇所は必ずご記入ください。	写真変更 <u>あり</u> ・ なし 変更・追加箇所 <u>あり</u> ・ なし		
氏 名	長野 太郎	ふりがな	
生 年 月 日		ローマ字	
会 社 名		役 職	
〒 (自宅)	(〒)		
自 宅 住 所			

- 注) ※** 会団名・氏名・写真変更・変更・追加箇所は**必ずご記入下さい**。
 それ以外は2022年度と**変更**及び**追加箇所**のみご記入下さい。
※ 写真の変更がある場合、写真裏面に記名してからお送り下さい。

令和4年度事務局長 中嶋 章

TEL : 0267-67-4038

FAX : 0267-67-3307

携帯 : 090-7901-1372

E-mail: info@nakajima-sc.com

会員各位

長野県青壮年団体連合会事務局より



2023年度『会員手帳記載事項』調査ご協力をお願い

拝啓 春寒の候、会員の皆様方にはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、県木連活動におきましては、格別なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度2023年度の会員手帳を作成するにあたり「会員手帳記載事項」の調査を行います。

何かとお忙しいとは存じますが下記項目にご記入の上、**会団長**までお送り下さい。

尚、**返信がない場合**は変更なしとして2022年度の内容を**そのまま掲載**いたしますのでご了解願います。

敬具

会 団 名	
-------	--

必ずご記入下さい。

写真変更 _____ あり ・ なし
 変更・追加箇所 あり ・ なし

氏 名		ふりがな	
生年月日		ローマ字	
会社名		役 職	
〒(会社)	(〒)		
会社住所			
会社TEL			
会社FAX			
携帯電話			
会社ホ-ムペ-ジ			
営業品目			
〒(自宅)	(〒)	自宅TEL	
自宅住所			
個人Eメール			
ウツテイルターの購読			

注) ※ 会団名・氏名・写真変更・変更追加箇所は**必ずご記入下さい**。

それ以外は2022年度と**変更**及び**追加箇所**のみご記入下さい。

※ 写真の変更がある場合、写真裏面に記名してからお送り下さい。

上記調査票にご記入の上 3月4日までに会団長までお送り下さい

令和4年度 第3回定例理事会 議事録(案)

日 時 令和4年11月26日(土)

場 所 長野県立美術館

【出席者】

- | | | |
|--------------|-------|------|
| ◎ 会 長 | 田村 紘一 | |
| 直前会長 | 大蔵 俊介 | 〈欠席〉 |
| 監 事 | 澁澤 一吉 | |
| 監 事 | 大和 俊英 | 〈欠席〉 |
| ◎ 代行副会長 | 宮崎 淳貴 | |
| ◎ 副会長 | 池田 剛 | |
| ◎ 副会長 | 由井 正宏 | |
| ◎ 北信木青連 会団長 | 坂田 庄蔵 | 〈欠席〉 |
| ◎ 北信木青連 副会団長 | 峯村 亮 | 〈欠席〉 |
| ◎ 東信木青連 会団長 | 小林 寿徳 | 〈欠席〉 |
| ◎ 東信木青連 副会団長 | 由井 正宏 | |
| ◎ 松本材青会 会団長 | 田中 一興 | 〈欠席〉 |
| ◎ 松本材青会 副会団長 | 石亀 道一 | |
| ◎ 事務局長 | 中嶋 章 | 〈欠席〉 |
| 事務局次長 | 由井 正宏 | |
| 事務局次長 | 宮澤 遥 | |
| 事務局主事 | 松本 寿弘 | |

【日本木青連出向者】

- | | | | | |
|----------|---------------------------|------|-------|------|
| 日本木青連 出向 | 常任理事 代行副会長 兼
木青連活性化委員会 | 委員長 | 島田 直政 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 常任理事 財務委員会 | 委員長 | 田中 俊章 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 | 会団長 | 田村 紘一 | |
| 日本木青連 出向 | 理事 コラボレーション
推進委員会 | 副委員長 | 由井 正宏 | |
| 日本木青連 出向 | 理事 全国大会実行委員会 | 副委員長 | 宮崎 淳貴 | |
| 日本木青連 出向 | 理事 全国大会実行委員会 | 副委員長 | 峯村 亮 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 澁澤 一吉 | |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 土倉 宜也 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 田中 博文 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 大蔵 俊介 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 田中 一興 | 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 総務委員会 | 委員 | 中嶋 章 | 〈欠席〉 |

日本木青連	出向	SCM推進委員会	委員	坂田 庄蔵	〈欠席〉
日本木青連	出向	全国大会実行委員会	委員	宮澤 薫	〈欠席〉
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	田村 紘一	
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	宮崎 淳貴	
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	中嶋 章	(欠席)
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	宮澤 遥	
		オブザーバー		日野原 和仁	

出席者数 7 名 ◎印は理事

開会の辞 由井事務局次長

会歌斉唱並びに綱領唱和 会歌清聴 綱領唱和 省略

会長挨拶 田村会長よりありがたいお言葉

直前会長挨拶 欠席のため省略

司会 宮澤事務局次長

資料確認及び字句訂正 表紙のみ字句訂正 (第 4 回定例理事会⇒第 3 回定例理事会)

連絡報告事項

(1) (2) 会議事業経過報告、日本木青連からの連絡報告 田村会長より説明

(3) 出向者活動報告 省略

(4) ・PR カレンダー申込みについて 宮崎代行副会長より説明
 カレンダーの申込みが年々少なくなっているため PR お願いしたい。
 ・木育ワークショップ、木工コンクール表彰式役割分担について

宮崎代行副会長が田村会長の指名を受け議事を進行

議事 議長 宮崎代行副会長

議事録作成人指名 由井事務局次長

定足数確認 理事 11 名中、出席理事 6 名 欠席理事 5 名 委任状 5 名 成立致します。

審議事項

第 1 号議案 令和 4 年度第 2 回定例理事会議事録（案）承認の件
田村会長より上程

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第 2 号議案 信州山の日 2022（木工教室）事業報告 承認の件
田村会長より説明

澁澤さん・・・昨年の反省を活かしてよい木工教室になった

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第 3 号議案 2022 長野市農業フェア（木工教室）事業報告 承認の件
田村会長より説明

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第 4 号議案 ビアフェス 2022（木工教室）事業報告 承認の件
田村会長より説明

雨天で参加人数が伸び悩み収支はマイナスになってしまったが
来年以降も継続していきたい

澁澤さん・・・天候に左右されるのを少なくするために SNS 等で発信してはどう
か？長野県木青連オフィシャルページ？

松本さん・・・SDGS を切り口に企業もしくは個人に出資してもらうのは？

木工教室の椅子はそろそろ変える？

他県の木工教室の内容を参考にしてもよいのでは？

来年以降は木工教室のバリエーションを増やす？

宮崎さん・・・キットのコンクールを一般公募で開催し長野県独自のキットを作
るか

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第 5 号議案 第 4 回定例理事会開催（案）承認の件
田村会長より上程・説明

字句訂正 1 箇所（令和 4 年 2 月 1 8 日⇒令和 5 年 2 月 1 8 日）

挙手にて採決 全員挙手により 承認

協議事項

田村会長・・・委員会はスケジュールがタイトなため今回は見合わせ後日 ZOOM 会議を行う。日程は後日連絡します。

会団事業・活動報告

北信木青連 宮崎代行副会長

東信木青連 由井副会団長

松本材青会 石亀副会団長

監事講評

澁澤監事

人数が少ない割に建設的な議論が出来てよかった。

閉会の辞 由井事務局次長

議事録作成人 令和4年度 事務局次長 由井 正宏

令和4年PRカレンダー斡旋事業報告(案)

★ 事業報告書

議案作成者 PRカレンダー担当副会長 宮崎 淳貴

事業名称：令和4年PRカレンダー斡旋事業

担当者：宮崎 淳貴

事業主体：長野県木材青壮年団体連合会

実施日時：申込締切り 9月30日(金) 支払い納入期限 2月20日(月)

実施場所：長野県下

対象者：会団・会員・その他

趣旨・目的：木青連の活動を広める。

斡旋手数料により県木青連・各会団共に事業収入を得て、木青連活動に活かす。

事業内容：①PRカレンダーを斡旋する。

各会団ごとに斡旋活動をしていただく。

個人会員へは、申し込み書等を共立プランニングより発送していただく。

②斡旋手数料

斡旋手数料は1部につき会団へ@50円、県木青連へ@50円とする。

個人会員への斡旋手数料は県木青連へ@100円とする。

③請求及び集金

請求及び集金は各会団ごとに行なっていただく。

その上で斡旋手数料を引いた金額を県木青連に支払っていただく。

個人会員への請求及び集金は、県木青連事務局が行なう。

今後スケジュール：

実施プログラム：7月中旬～ 申し込み書・カレンダー見本配布

9月30日 申込締切り

11月～ 申し込み順にカレンダー発送

1月26日 請求書発送

2月20日 納入期限

決算：別紙の通り

外部協力者：(株)共立プランニング 日野原氏

[連絡先] TEL026-238-8877 FAX026-238-8870

添付資料：令和4年PRカレンダー斡旋事業決算

PRカレンダー集計表

PRカレンダー請求金額一覧表

令和4年PRカレンダー斡旋事業収支決算(案)

収支決算書

【収入の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業収入	PRカレンダー	1,450,000	1,401,070	振込手数料 △330(都築木材)
	日本木青連カレンダー	0	0	日本木青連直接取引
収入合計		1,450,000	1,401,070	

【支出の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
PR事業費	PRカレンダー	1,260,000	1,275,750	
	日本木青連カレンダー	0	0	日本木青連直接取引
	PRカレンダー諸費用	33,000	33,000	見本帳印刷費・申込書・発送費等
支出合計		1,293,000	1,308,750	(税込)

収入の部		1,450,000	1,401,070	
支出の部		1,293,000	1,308,750	
手数料収入		157,000	92,320	(税込) 本会計へ繰入

1. 長野材友会

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数						
101	松代木材																					0	0				0
102	マルオカ																					0	0				0
103	住まいのクラサワ	530	100	530	150																	250	132,500			1,500	134,000
104	山二ハウジング																					0	0				0
105	丸興木材																					0	0				0
106	ウッディプランニング																					0	0				0
107	小山木材																					0	0				0
108	アスカ木材																					0	0				0
109	おちあい																					0	0				0
110	土倉製材所			550	30																	30	16,500			500	17,000
111																						0	0				0
112																						0	0				0
113																						0	0				0
114																						0	0				0
115																						0	0				0
116																						0	0				0
117																						0	0				0
118																						0	0				0
119																						0	0				0
120																						0	0				0
合 計			100		180		0		0		0		0		0		0		0		0	280	149,000	0	0	2,000	151,000

手数料(1部@¥50) 会団様 14,000
木青連様 14,000

支払い金額 会団様⇒木青連: 137,000
木青連様⇒共立 123,000

注:上記金額は、税込み金額です。

2. 高水若杉会

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数						
201	瑞穂木材																	830	200			200	166,000	1,500		1,000	168,500
202	竹原木材											360	450									450	162,000			2,500	164,500
203	高社木材																					0	0				0
204	信越木材																					0	0				0
205	山三																					0	0				0
206	内野																					0	0				0
207	中澤木材											390	60									60	23,400			500	23,900
208	藤澤建築											390	60									60	23,400			500	23,900
209	竹節建築			530	120																	120	63,600			1,000	64,600
210																						0	0				0
211																						0	0				0
212																						0	0				0
213																						0	0				0
214																						0	0				0
215																						0	0				0
216																						0	0				0
217																						0	0				0
218																						0	0				0
219																						0	0				0
220																						0	0				0
合計			0		120		0		0		0		570		0		0		200		0	890	438,400	1,500	0	5,500	445,400

手数料(1部@¥50) 会団様 **44,500**
木青連様 **44,500**

支払い金額 会団様⇒木青連: **400,900**
木青連様⇒共立 **356,400**

注:上記金額は、税込み金額です。

3. 上小木青連

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
301	コケブ																					0	0				0	
302	上田住宅																						0	0				0
303	布施製材所																						0	0				0
304	浅木屋木材											390	15									15	5,850			500	6,350	
305	泉田木材工業																						0	0				0
306	樋沢産業																						0	0				0
307	日之出木材																						0	0				0
308	井出木材店																						0	0				0
309	小林木材																						0	0				0
310	丸山建材工業																						0	0				0
311	大久保木材																						0	0				0
312	第三木材													690	110							110	75,900			1,000	76,900	
313	イズミダ																						0	0				0
314	飯嶋林業																						0	0				0
315	おもだか屋																						0	0				0
316	川西 (川西木材)																						0	0				0
317																							0	0				0
318																							0	0				0
319																							0	0				0
320	上小木青連																						0	0				0
合計			0		0		0		0		0		15		110		0		0		0		125	81,750	0	0	1,500	83,250

手数料(1部@¥50) 会団様 6,250
木青連様 6,250

支払い金額 会団様⇒木青連: 77,000
木青連様⇒共立 70,750

注:上記金額は、税込み金額です。

4. 唐松会

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
401	マルナカ											390	50									50	19,500			500	20,000	
402	太田木材																					0	0				0	
403	山浦木材建材																					0	0				0	
404	伊藤木材																					0	0				0	
405	小林林業																					0	0				0	
406	田村木材	550	50																			50	27,500			500	28,000	
407	中島木材																					0	0				0	
408	矢野木材工業																					0	0				0	
409	麻屋材木店																					0	0				0	
410	小林林産																					0	0				0	
411	田中製材工業																					0	0				0	
412																						0	0				0	
413																						0	0				0	
414																						0	0				0	
415																						0	0				0	
416																						0	0				0	
417																						0	0				0	
418																						0	0				0	
419																						0	0				0	
420																						0	0				0	
合計			50		0		0		0		0		50		0		0		0		0		100	47,000	0	0	1,000	48,000

手数料(1部@¥50) 会団様 5,000
木青連様 5,000

支払い金額 会団様⇒木青連: 43,000
木青連様⇒共立 38,000

注:上記金額は、税込み金額です。

5. 松本材青会

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数						
501	印出											390	70									70	27,300			500	27,800
502	エバラ													690	150							150	103,500			1,000	104,500
503	渡辺製材所																					0	0				0
504	上條製材工業																					0	0				0
505	丸山製材所																					0	0				0
506	筑北木材建設																					0	0				0
507	赤羽工業																					0	0				0
508	武居木材																					0	0				0
509	田中製材所(国興)																					0	0				0
510	大蔵木工																					0	0				0
511	征矢野建材															630	100					100	63,000			500	63,500
512	オガサワラ林業																					0	0				0
513	百瀬木材																					0	0				0
514	浅井木材		530		100																	100	53,000			500	53,500
515																						0	0				0
516																						0	0				0
517																						0	0				0
518																						0	0				0
519																						0	0				0
520																						0	0				0
合 計			100		0		0		0		0		70		150		100		0		0	420	246,800	0	0	2,500	249,300

手数料(1部@¥50) 会団様 21,000
木青連様 21,000

支払い金額 会団様⇒木青連: 228,300
木青連様⇒共立 207,300

注:上記金額は、税込み金額です。

6. 旧・南安アルプス会

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)		
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数								
602	一日市建設																					0	0				0		
603	藤岡建設																						0	0				0	
604	辰善木材																						0	0				0	
605	太田林業																						0	0				0	
606	会田建設																						0	0				0	
607	べんと屋																						0	0				0	
608	安曇木材協同組合																						0	0				0	
609	佐原建設																		840	40			40	33,600		500		34,100	
610	王子木材																						0	0				0	
611	浅野製材所																						0	0				0	
612	岡澤組																						0	0				0	
613	白馬平林建設																						0	0				0	
914	増田建設産業(有)																						0	0				0	
915	敦②木軸工房							340	60														60	20,400		500		20,900	
616																							0	0				0	
617																							0	0				0	
618																							0	0				0	
619																							0	0				0	
620																							0	0				0	
621																							0	0				0	
合計			0		0		0		0		60		0		0		0		0		40		0	100	54,000	0	0	1,000	55,000

手数料(1部@¥50) 会団様 5,000
木青連様 5,000

支払い金額 会団様⇒木青連: 50,000
木青連様⇒共立 45,000

注:上記金額は、税込み金額です。

7. 木 曾

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
701	松瀬工務店																					0	0				0	
702	大桑木材工業																						0	0				0
703	池田木材																						0	0				0
704	木曾五木工芸社											700	50									50	35,000			500	35,500	
705	進興工芸																						0	0				0
706	佐郡木工所																						0	0				0
707	山崎建設																						0	0				0
708	井上											700	12									12	8,400			500	8,900	
709	のむら木材											690	100									100	69,000			500	69,500	
710	木曾協和産業																			470	50	50	23,500			500	24,000	
711	中村木材工業所																						0	0				0
712	荻村製材所																						0	0				0
713	中家製材所																						0	0				0
714	楯木工製材所																						0	0				0
715	田上桶店																						0	0				0
716	古畑製材所																						0	0				0
717	野尻木材工業所																						0	0				0
718	栗山木工																						0	0				0
719	下島木工																						0	0				0
720																							0	0				0
合 計			0		0		0		0		0		162		0		0		0		50		212	135,900	0	0	2,000	137,900

手数料(1部@¥100) 木青連様 **21,200**

支払い金額 木青連様⇒共立 **116,700**

注:上記金額は、税込み金額です。

8. 個人

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)		
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数								
801	池田													700	8					840	10			18	14,000			500	14,500
802	カクダイ製材所																						0	0				0	0
803	丸藤建設木材																						0	0				0	0
804																							0	0				0	0
805																							0	0				0	0
806																							0	0				0	0
807																							0	0				0	0
808																							0	0				0	0
809																							0	0				0	0
810																							0	0				0	0
811																							0	0				0	0
812																							0	0				0	0
813																							0	0				0	0
814																							0	0				0	0
815																							0	0				0	0
816																							0	0				0	0
817																							0	0				0	0
818																							0	0				0	0
819																							0	0				0	0
820																							0	0				0	0
合計			0		0		0		0		0		0		8		0		10		0		18	14,000	0	0	500	14,500	

手数料(1部@¥100) 木青連様 **1,800**

支払い金額 木青連様⇒共立 **12,700**

注:上記金額は、税込み金額です。

9. 特殊

	企業名	SP111		SB081												部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)																																																																													
		単価	部数	単価	部数																																																																																													
901	都築木材	460	570	380	120																902																					合計			570		120		0		0		0		0		0		0		0														690	307,800	1,500		3,500	312,800													0	0				0
902																					合計			570		120		0		0		0		0		0		0		0														690	307,800	1,500		3,500	312,800													0	0				0																					
合計			570		120		0		0		0		0		0		0		0														690	307,800	1,500		3,500	312,800													0	0				0																																										
												690	307,800	1,500		3,500	312,800																																																																																	
												0	0				0																																																																																	

1部10円 手数料(販売差額) 木青連様 **6,900**

支払い金額 木青連様⇒共立 **305,900**

注:上記金額は、税込み金額です。

企業名	No.11706 部数	No.11762 部数	No.10565 部数	No.10761 部数	No.10905 部数	No.10972 部数	No.11512 部数	No.11514 部数	No.10984 部数	指定外 部数	合計部数	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
1. 長野木材会	100	180	0	0	0	0	0	0	0	0	280	149,000	0	0	2,000	151,000
2. 高水若杉会	0	120	0	0	0	570	0	0	200	0	890	438,400	1,500	0	5,500	445,400
3. 上小木青会	0	0	0	0	0	15	110	0	0	0	125	81,750	0	0	1,500	83,250
4. 唐松会	50	0	0	0	0	50	0	0	0	0	100	47,000	0	0	1,000	48,000
5. 松本材青会	100	0	0	0	0	70	150	100	0	0	420	246,800	0	0	2,500	249,300
6. 南安アルプス会	0	0	0	0	60	0	0	0	40	0	100	54,000	0	0	1,000	55,000
7. 木曾	0	0	0	0	0	0	162	0	0	50	212	135,900	0	0	2,000	137,900
8. 個人	0	0	0	0	0	0	8	0	10	0	18	14,000	0	0	500	14,500
9. 特殊	570	120	0	0	0	0	0	0	0	0	690	307,800	1,500	0	3,500	312,800
合計	250	300	0	0	60	705	430	100	250	50	2,835	1,474,650	3,000	0	19,500	1,497,150

手数料(1部@¥50) 会団様 **95,750**
 (木曾及び個人 @¥100) 木青連様 **118,750**
 特殊分 木青連様 **6,900**

支払い金額 会団様⇒木青連 **1,088,600**
 特殊 **312,800**
 木青連様⇒共立 **1,275,750**

注:上記金額は、税込み金額です。

2023年PRカレンダー請求金額一覧表

企業名	金額	備考
北信木青連(長野)	137,000	
北信木青連(高水)	400,900	
東信木青連(上小)	77,000	
東信木青連(唐松会)	43,000	
松本材青会	278,300	
木曾五木工芸社	35,500	納入済
(株)井上	8,900	
のむら木材(株)	69,500	納入済
木曾協和産業(株)	24,000	
(株)池田	14,500	納入済
都築木材(株)	312,800	
	0	
合計	1,401,400	

令和4年度 第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告(案)

★ 事業報告書	議案作成者	木工工作担当副会長 池田 剛
事業名称	令和4年度 第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール	
担当者	池田 剛	
事業主体	長野県木材青壮年団体連合会	
実施日時	審査会：令和4年10月7日（金） 表彰式：令和4年11月26日（土）	
実施場所	審査会：塩尻市 長野県林業総合センター 大研修室 表彰式：長野市 長野県立美術館	
対象者	長野県下 小・中・特別支援学校（級）の児童生徒	
趣旨・目的	子供たちに木を使って自由な発想で物を創る喜びを感じ取ってもらう。 また、木を使うことにより、自然との関わり方や自然の温かみを学んでもらう。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・趣意書・開催要項等の配布 長野県下 小・中・特別支援学校（級）すべてに配布並びにPR ・審査会の開催 地区審査：各地区（会団）ごとに、作品を取りまとめ審査 県審査：地区審査を通過した作品を県下集め、審査員に外部の方を入れて開催 ・入選作品の展示（県庁等公共施設に展示し、広く事業のPRをする） ・表彰式を開催 ・全国の審査会へ出品（最優秀賞（県知事賞）の作品等6作品を出品） ※新型コロナウイルス感染症対策をして実施した。 	
実施プログラム	6月中旬	会場仮押さえ
	6月下旬	共催・後援依頼
	7月上旬	趣意書等の配布
	9月中旬	審査員依頼
	9月16日（金）	応募締め切り
	9月30日（月）まで	地区審査、結果報告
	10月3日（月）まで	県報告
	10月7日（金）	県審査会 （塩尻市 長野県林業総合センター）
	10月24日（月）～28日（金）	作品展示（長野県庁）
	11月26日（土）	表彰式 （長野市 長野県立美術館）
	1月11日（水）	全国審査会1次審査（6点） ※WEB審査
	3月5日（日）予定	全国審査会最終審査（2点） ※宮崎市
	6月3日（土）予定	全国大会にて表彰式（高知市） （新型コロナウイルス感染症拡大防止等により開催状況の変更あり）
実施上の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度、4千点をこえる出品があった。 ・趣意書の学校配布がギリギリになったしまったので、来年度は早めに配布できるようにしたい。 	
決 算	別紙のとおり	
外部協力者	(株)共立プランニング 日野原氏	
[連絡先]	TEL026-238-8877 FAX026-238-8870	
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・決算書 ・事業報告書 	

令和4年度 第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール収支決算（案）

収支決算書

【収入の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
PR事業費	木工工作コンクール事業費	1,330,000	1,308,292	
収入合計		1,330,000	1,308,292	

【支出の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	資料作成発送	377,000	377,520	趣意書、出品票、持ち込み先リスト、ポスター、
	審査会	12,000	7,600	
	賞状	588,100	549,494	
	《内訳》 入選	121,000	121,000	制作代8,800×10、材料代3,300×10
	優秀賞	72,600	66,000	A3版 10枚(6,600円)
	佳作	90,000	90,200	B4版 550枚(164円)
	努力賞	297,000	264,000	A4版 3,300枚(80円)
	雑費	7,500	8,294	賞状用紐・金具・箱代・手提げ袋代等
	記念品	74,800	74,800	
	《内訳》 入選	52,800	52,800	6,600×4(知事賞)、4,400×6(特別賞)
	優秀賞	22,000	22,000	10個(2,200円)
	佳作	0	0	
	展示用備品	10,000	0	
	表彰式	40,000	60,514	
	《内訳》 会場使用料	10,000	16,200	県立美術館
	表彰式設営費	10,000	0	
	表彰式アシスタント代	0	0	
	雑費	20,000	44,314	賞状発送費、振込手数料等
	全国大会交通費	0	0	
	作品運搬費	50,000	50,000	未確定分(宮崎市郵送、出品者返却等)
	通信・印刷費	43,100	61,864	コピー、切手代等
	広告費	135,000	126,500	信毎(7/7)、長野の林業(7月号)
支出合計		1,330,000	1,308,292	(税込)

※この事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。



令和4年度 長野県木育推進事業

長野県児童・生徒 木工工作コンクール 事業報告書

～WOOD CHANGE～



- 主催：長野県木材青壮年団体連合会
- 共催：長野県／中部森林管理局／(公財)長野県緑の基金／長野県県産材振興対策協議会／長野県木材協同組合連合会
- 後援：長野県教育委員会／(財)長野県建築住宅センター／長野県森林組合連合会／NHK長野放送局／SBC信越放送／NBS長野放送／TSBテレビ信州／
abn長野朝日放送／長野エフエム放送／新建新聞社／長野県民新聞社

長野県木青連事務局（県木連内）

〒380-8567 長野市岡田町30-16
TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580

メール：n-msr@siren.ocn.ne.jp

WEB：http://n-msr.com/

第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業概要

※この事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。

そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共 催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県木材協同組合連合会、長野県県産材振興対策協議会

【後 援】 長野県教育委員会、(一財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対象者】 長野県下の小学校、中学校、特別支援学校(級)の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】**
- (1) テーマ
自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
 - (2) 大きさ
タテ・ヨコ・高さ それぞれ55cm以下とする。
 - (3) 締切り
令和4年 9月16日(金)
 - (4) 送り先
最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】

年月日	場所	内 容
令和4年7月上旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付 各関係機関へ依頼書送付
7月～9月	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中) 各材料の提供配布は地元会員が手配
9月16日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
9月17日～	県下全域	各地区審査会を実施
10月7日	塩尻市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
10月24日～28日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1階ロビーにて展示
11月26日	長野市	長野市 長野県立美術館 B1階 ホールにて表彰式
令和5年1月10日	全 国	全国児童生徒木工工作コンクール 一次審査
3月5日	全 国	全国児童生徒木工工作コンクール 最終審査
6月5日	北海道	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審査基準】 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。

また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、特別支援学校(級)の以上4部門に分けて審査を行なった。

- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
- ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
- ・機能、デザインが優秀であること。
- ・工作技術が優秀であること。

【審査会】 令和4年10月7日(金) 塩尻市 長野県林業総合センター(大研修室)

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター
 専門主事 春日 俊宏 様
 審査委員 長野県林務部 信州の木活用課
 県産材利用推進室
 担当係長 伊藤 武 様
 林野庁中部森林管理局 資源活用課
 企画官 芳沢 真一 様
 (公財)長野県緑の基金
 常務理事兼事務局長 河西 光章 様
 長野県木材協同組合連合会
 理事長 宮崎 正毅 様
 長野県県産材振興対策協議会
 会長 宮崎 正毅 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 会長 田村 紘一 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 直前会長 大藏 俊介 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 会長代行副会長 宮崎 淳貴 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 副会長 由井 正宏 君
 計9名



【審査風景】 令和4年10月7日(金) 塩尻市 長野県林業総合センター (大研修室)



【展示風景】 令和4年10月24日(月)～28日(金) 長野県庁1階ロビー



【表彰式】 令和4年11月26日(日) 長野市 長野県立美術館 B1階 ホール



第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞作品一覧

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作品名	氏名	学校名	学年
華灯	等々力 蒼 乃	信州大学教育学部附属松本小学校	4年
流木ツリーハウス	小 島 柊 哉	辰野町立辰野東小学校	6年
ウッドバーニング	菊 池 桜 介	原村立原中学校	2年
春の山小屋	降 旗 諒 介	大町市立大町東小学校	3年

2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏名	学校名	学年
「サンリッチオレンジ」～流木の生け花～	北 原 彩 葉	南箕輪村立南部小学校	5年

3. 林野庁中部森林管理局長賞

作品名	氏名	学校名	学年
リアルリュウボク カブトムシ	宮 嶋 朔 杜	茅野市立金沢小学校	3年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
SDGs～いまぼくたちにできること～	吉 田 陽 翔	茅野市立米沢小学校	4年

5. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
龍	置 田 彩 華	南木曾町立南木曾小学校	3年

6. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
伊勢海老	矢 崎 琉 冬	茅野市立米沢小学校	5年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
浅間山サイドテーブル	浅 井 太 鷗	御代田町立御代田北小学校	6年

8. 優秀賞

作品名	氏名	学校名	学年
たまごを見守る親鳥	山 口 泰 生	上田市立神川小学校	4年
がんばれ佐久鯉	小 林 隼 翔	佐久市立岸野小学校	4年
動くシャチ	依 田 伊 織	佐久市立望月小学校	6年
夏の思い出	服 部 一 輝	大町市立大町北小学校	6年
まな板の上のこい	猪 股 怜 司	諏訪市立城南小学校	5年
四つの柱と幣拝殿	大 村 耀 介	下諏訪町立下諏訪北小学校	6年
思い出いっぱい宝箱	山 崎 暖 叶	伊那市立美篤小学校	3年
ひまわり	原 此 のみ	南木曾町立南木曾小学校	1年
昇り龍	加 藤 新 大	南木曾町立南木曾小学校	6年
天空の龍	古 田 斗 喜	南木曾町立南木曾小学校	6年

■第45回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

総参加人数		4,019 名
参加学校	小学校	114 校
	中学校	1 校
	特別支援学校（級）	1 校
	合計	116 校

審査会出品数		56 点
入選（入賞リスト 1～7）	優秀賞	10 点
	佳作	10 点
	努力賞	439 点
	総作品数	3,558 点
総作品数		4,017 点

受賞作品

最優秀賞(長野県知事賞)

華灯

信州大学教育学部附属松本小学校 4年 等々力 蒼 乃

●作品を創ってみての感想

去年、初めてかんなくずで作品を作って、かんなくずが光を通すと、とてもきれいだったので温かいふんい気になるように、ランプを作りました。

花を作るのが大変でしたが、丸くすることで、優しい感じに仕上がって良かったです。

●一番見てほしいポイントは

一つひとつの花の形や、ちょうちょが集まってきて、華やかになっている所です。

●苦労した点は

ひとつづつ長さをはかって、同じ大きさの花になるようにしたところです。

かんなくずは、手にくっついてさけてしまうので、ていねいに作るようにしました。



●木に触れてどうでしたか

すぎやひのきのかんなくずを使ったので、とても良い匂いがしました。

かんなくずは、あんだり、まるくすることで、さげにくくなったので、まだまだ色々なものが作れそうだなと思いました。

最優秀賞(長野県知事賞)

流木ツリーハウス

辰野町立辰野東小学校 6年 小 島 柊 哉

●作品を創ってみての感想

木工が大好きで、自分が住んでみたいツリーハウスを作ることになりました。

大変なことが、たくさんあって時間がかかったけど、そのかいがあって自分が満足できる作品が作れました。

最初の想像とは違ってたけど、ぐう然見つけた流木の形を生かした作品を作ることができました。

●一番見てほしいポイントは

全体的なデザインと、3つの家の扉があくところや、はしごやブランコなどの小物です。

こんな家に住んだら楽しいなと想像して見てもらいたいです。

家の中に息を吹きかけると、たき木に火が付く仕掛けを作り、それがお気に入りです。

●苦労した点は

暑い中、天竜川で流木を集めたことです。

完成したツリーハウスを予想しながら、流木を集めました。なかなか思った通りの形の流木が落ちていないので苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

加工された木の形ではなく、自然の木を使って作りたいと思い、木を探しました。

拾った木は腐っていたり、すぐ折れてしまったりして、物を作るのに使える木は限られていると思いました。

最優秀賞(長野県知事賞)

ウッドバーニング

原村立原中学校 2年 菊池 桜介

●作品を創ってみての感想

ウッドバーニングに興味があり、一度作品に挑戦してみたいと思いやってみました。いがいと難しく硬い木材だとうまく焼けず、柔らかい木材だと焼けすぎてしまい木材選びから大変でした。

いざ、作品にとりかかると、絵の濃淡をつけるのが難しいと思いました。

●一番見てほしいポイントは

鯉と桜の配置とグラデーションです。桜に鯉が少しかぶるなどの工夫をし、鯉がより目立つようにしました。

●苦労した点は

グラデーションです。一度濃く焼いてしまったらとりかえしがつかなくなるので苦労しました。

焼く時間、押し付け方でグラデーションがかなり変わってくるのでそこも苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

木は切ったり、削ったりするだけではなく、焼くことによっても作品になることもわかり、木への魅力を感じました。

最優秀賞(長野県知事賞)

春の山小屋

大町市立大町東小学校 3年 降 簾 諒 介

●作品を創ってみての感想

ぼくは、夏休み前から、どんな作品にしようかと考えてきました。夏休みに、その計画を実行しました。どうしても作りたかったのは、山小屋です。

なぜかという、自分の山小屋が欲しかったからです。山小屋のまわりで木を切ったりブランコに乗ったりしたかったからです。なので、ぼくのりそうの山小屋になりました。

●一番見てほしいポイントは

小屋と庭です。小屋は夏休みに細いぼうを糸ノコを使って切りました。自分で切ってみました。それらを組み合わせボンドではりました。すぐかたまらなかったので、大変でした。

また、山小屋のドアを開けられるようにしました。自分が入れるような気がして、ワクワクしました。ドア作りにも苦労したので、ぜひ見て欲しいです。

庭は、春をイメージして、緑のスポンジをはりました。春らしくなって気に入っています。

●苦労した点は

ブランコを作る時に、電動糸ノコを使いました。小さな丸太を二つに切るのが難しく、先生に教えてもらいました。うまく切れた時は、うれしかったです。



●木に触れてどうでしたか

山小屋の庭に使った木は、校舎のまわりからひろってきました。それらを切って作りました。木は表面はガラガラしていたけれど、切り口はツルツルになりました。これらを使って作品を作るとすると、わくわくしました。

長野県教育委員会賞

「サンリッチオレンジ」～流木の生け花～

南箕輪村立南部小学校 5年 北原 彩葉

●作品を創ってみての感想

ふだん生花をして時期が来ると花は枯れてしまいます。なので枯れない花を木で作りたいと思いました。どのようにひまわりの花びらを作るか考え、色々試して庭に咲いたひまわりに近い花になりました。大変でしたが、とても楽しかったです。

●一番見てほしいポイントは

花びら一枚一枚消り、木の皮と合わせてひまわりを表現できた所です。

●苦労した点は

流木は自然のもので木の曲がりや形をどのように組み合わせ表現するかが大変でした。



●木に触れてどうでしたか

自然の木を使って何かを作る事はとても、大変でしたがこの工作が思い出と共に残るという事はとてもうれしいです。

林野庁中部森林管理局長賞

リアルリュウボク カブトムシ

茅野市立金沢小学校 3年 宮嶋 朔杜

●作品を創ってみての感想

夏休みに、おじいちゃんたちと山に遊びに行ったとき、川の近くで流木を見つけました。いつも見る木とちがって面白い形がたくさんあったので、この木を使って大好きなカブトムシを作ることになりました。かっていたカブトムシを見ながらおじいちゃんといっしょに作りました。賞がもらえてうれしかったです。来年もとくべつな賞をとりたいです。

●一番見てほしいポイントは

羽が開くところと、かっこいいツノを見てほしいです。

●苦労した点は

流木の中からツノや足などちょうどよい形を探すことが大へんでした。また、動く羽の部分も苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

流木だけで生き物の形を表げんすることは大へんだったけど、川の流れてできたいろいろな形の中から、ほしい形を探すのは宝探しのように楽しかったです。

公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞
SDGs～いまぼくたちにできること～

茅野市立米沢小学校 4年 吉田 陽 翔

●作品を創ってみての感想

SDGsの勉強をして、それを木工で創ってみたいかった。

17個のロゴを立体にしてデザインするのが楽しかったです。

今、ぼくたちができることを木工作品で表現しました。

毎年夏休みに木工作品を作っていました、初めて大きな賞をもらえて、とてもうれしかったです。

●一番見てほしいポイントは

SDGsの15番の「陸の豊かさを守ろう」をテーマにして、材料をかんばつ材と建築端材を使用して、環境にやさしい木工作品にしました。

15番のロゴのデザインを一番大きく表現したところを見てほしいです。

●苦労した点は

家族のみんなで、近くの山に材料を集めに行った所と、木をノコギリで切ったり、ドリルで穴をあけるのが大変でした。

松ぼっくりで木を表現するのが苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

切った木は最初はガラガラしていたけど、やすりでけずったらすべすべになって、気持ちよかったです。

木の種類によって、触れたかんじが全部ちがって楽しかったです。

長野県木材協同組合連合会 理事長賞
龍

南木曾町立南木曾小学校 3年 置田 彩華

●作品を創ってみての感想

私は、すわの龍神様という本を読んで、木で龍を作りたいと思いました。

私の作った龍は青空を泳いでいる龍です。泳いでいる所を、さいげんするには、思っていたよりも、むずかしかったです。

龍ができた時は、すごくうれしかったです。

来年は、いのししを作りたいです。

●一番見てほしいポイントは

龍の頭についている角や、ひげをさいげんするのが、むずかしかったので、一番見てほしいです。

角や、ひげを作った木は、うめの木を使いました。

頭は木のえだ分かれしているところを使いました。

ひげは、たくさんあるえだの中からえらぶのが大へんでした。

●苦労した点は

せびれを一本一本ととのえて、つけるのが大へんでした。

丸まった木くずを使ったので、ほどくのが大へんでした。



●木に触れてどうでしたか

檜の木くずは、いいにおいがしました。

うめの木は、かわがあつみがありました。

木のしゅるいによって、さわりごこちがまったくちがってふしぎに思いました。

伊勢海老

茅野市立米沢小学校 5年 矢崎 琉冬

●作品を創ってみての感想

夏休みに、イセエビを食べておいしかったし、かっこ良かったので、つくりたくなりました。つくってみたら、ふくざつだったので、大変でした。ぼくは、海の生き物が大好きで去年は、タイをつくり、今年はイセエビをつくりました。

●一番見てほしいポイントは

ヒゲです。曲げるのに水でぬらしたり、足でふんだりして、上り曲がったヒゲを再現しました。

●苦労した点は

部位にあった材料を山にさがしに行ったところと、ヒゲと足をさしこむ穴の大きさの調整をしたところです。



●木に触れてどうでしたか

木の種類によって、かたさや、においがちがって折れやすい木や曲げやすい木があっっておもしろかったです。

浅間山サイドテーブル

御代田町立御代田北小学校 6年 浅井 太鷗

●作品を創ってみての感想

木で生活に役立つ物、便利なものをずっと作ってみたいとサイドテーブルを作ることにしました。大切に長く使えるものが、できたのでとてもよかったです。次に家具を作るときは、ねじれないように作りたいです。また、ちがう種類の木を使ってみたいです。

●一番見てほしいポイントは

黒たんの木で作った浅間山です。3Dマップで上からや裏側からの、浅間山を見ながら一彫りずつついでに彫りました。

●苦労した点は

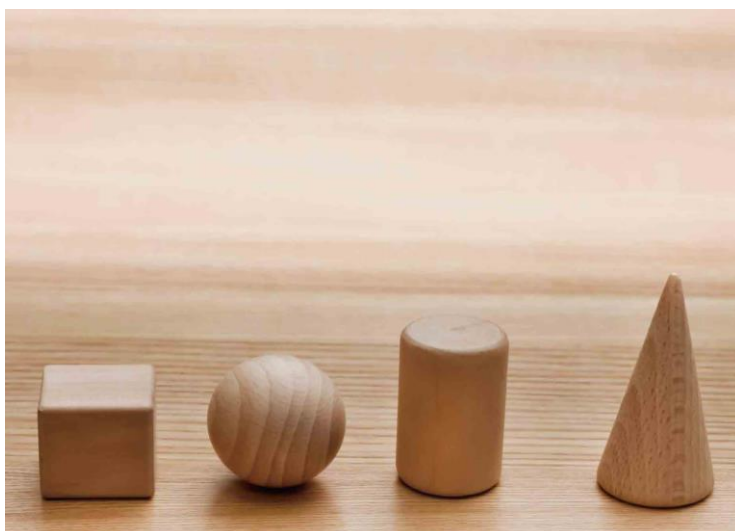
テーブルのあしは、きれいに見えるようにダボつぎに挑戦しました。でも出来上がったあしが少しねじれてしまったのでくやしかったです。



●木に触れてどうでしたか

いろいろな種類の木を使ってみたかったので、3種類の木で作りました。(けやき、黒たん、ブビンガ)木によって固さや木目やにおいがちがうので、とても面白い発見が出来ました。

触れて、創って、知る ウッドコレクション



長野県木材青壮年団体連合会

〒380-8567 長野市岡田町30-16

メール: info@n-msr.com

TEL: 026-226-1471 FAX: 026-228-0580

WEB: <https://n-msr.com/>

[令和4年度]

日本木青連 第47回全国児童・生徒木工工作コンクール エントリーリスト

第1部門 小学校低学年の部

作品名	氏名	学校名	学年	長野県の賞	備考
華灯	等々力 蒼乃	信州大学教育学部附属松本小学校	4	最優秀賞（長野県知事賞）	最終審査
春の山小屋	降旗 諒介	大町市立大町東小学校	3	最優秀賞（長野県知事賞）	

第2部門 小学校高学年の部

作品名	氏名	学校名	学年	長野県の賞	備考
流木ツリーハウス	小島 柊哉	辰野町立辰野東小学校	6	最優秀賞（長野県知事賞）	最終審査
浅間山サイドテーブル	浅井 太鷗	御代田町立御代田北小学校	6	木青連会長賞	

第3部門 中学校の部

作品名	氏名	学校名	学年	長野県の賞	備考
ウッドバーニング	菊池 桜介	原村立原中学校	2	最優秀賞（長野県知事賞）	
リアルリュウボク カブトムシ	宮嶋 朔杜	茅野市立金沢小学校	3	中部森林管理局長賞	

作品送付先、注意点等について

この度は第 47 回全国児童・生徒木工工作コンクールへのご応募誠にありがとうございました。

最終審査会へ向けての作品送付先等をご説明させていただきます。ご不明な点等ありましたら担当久保までご連絡下さい。

作品送付先 ランバー宮崎協同組合
〒880-2213 宮崎県宮崎市高岡町上倉永 2515 番地
TEL 0985-82-0331
※備考欄等に木工工作コンクール作品在中とお書き下さい
2月28日必着

送付の注意点

- ・ 発送の際は割れ物、天地無用の指示をお願い致します。
- ・ 梱包は段ボールのみの使用は避け、木枠での補強やプラスチック等の箱に入れてお送り下さい。
- ・ 作品との隙間には緩衝材を利用し、作品の保護にご協力ください。
- ・ 追跡番号がある場合は保管をお願い致します。
- ・ 管理のため、学校名と学年、作者名（ふりがなもお願い致します）、ご担当者様の連絡先を書いた紙をご同封下さい。書式は自由です。

破損について 上記の通り梱包頂きましても、例年多くの作品が到着時に破損しております。小さな破損の場合は会員による修復の許可をお願い致します。開封時に写真を撮影致しますので、大きな破損の場合は修復の方法を指示頂く場合がございます。
十分に注意して作業しますが、誠に申し訳ございませんが郵送時に破損が発生致します事をご理解の上ご容赦頂けますようお願い致します。

今後の流れ 3月5日（日）に最終審査会を行います。集計の後、3月中に皆様に結果をご報告致します。
受賞に至らなかった場合は当方より作品をご返却させていただきます。
受賞の場合は、6月5日（土）に行われます日本木青連全国大会にて展示、表彰させて頂きたいと思っております。受賞作品はその後のご返却となります。

令和5年度 長野県木青連役員(案)

区分	役職	氏名	所属	ブロック	備考
理事	会長	ミヤザキ シンキ 宮崎 淳貴	北信木青連	北信	
	直前会長	タムラ ヒロキ 田村 紘一	東信木青連	東信	
	監事		松本材青会	中信	
	監事	タナカ ヒロミ 田中 博文	東信木青連	東信	
理事	代行副会長		松本材青会	中信	
理事	副会長	ミヤノ 晃 峯村 晃	北信木青連	北信	
理事	副会長	ナカノ 章 中嶋 章	東信木青連	東信	
理事	北信木青連 会団長	シバタ イチキ 澁澤 一吉	北信木青連	北信	
理事	北信木青連 副会団長	ミヤノ 遥 宮澤 遥	北信木青連	北信	
理事	東信木青連 会団長	コバヤシ トシノブ 小林 寿徳	東信木青連	東信	
理事	東信木青連 副会団長	ユイ マサヒロ 由井 正宏	東信木青連	東信	
理事	松本材青会 会団長		松本材青会	中信	
理事	松本材青会 副会団長		松本材青会	中信	
理事	事務局長	ミヤノ 薫 宮澤 薫	北信木青連	北信	
	事務局次長	サカタ シンゾウ 坂田 庄蔵	北信木青連	北信	
	事務局次長		松本材青会	中信	
	事務局主事	マツモト トシヒロ 松本 寿弘	県木連		
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	ミヤザキ シンキ 宮崎 淳貴	北信木青連	北信	(県会長)
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表		松本材青会	中信	(県代行副会長)
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	ミヤノ 薫 宮澤 薫	北信木青連	北信	(事務局長)
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表		松本材青会	中信	(事務局次長)
協力企業	オブザーバー	ヒノハラ カズヒ 日野原 和仁	共立プランニング		

令和5年度 日本木青連出向者(案)

区分	役職	氏名	所属	ブロック	備考	
常任理事	会長	シタ ナオマサ 島田 直政	東信木青連	東信		
	専務理事	タカ イッコウ 田中 一興	東信木青連	東信		
	会長補佐	コバヤシ ヒササ 小林 稔政	松本材青会	中信		
	会長補佐	イデ アキラ 印出 晃	松本材青会	中信		
	会長補佐	ツチノ ケンヂ 土倉 萱也	北信木青連	北信		
	北信越地区長	タカ ヒロフミ 田中 博文	東信木青連	東信		
	木育創造委員会 委員長	ユイ マサヒロ 由井 正宏	東信木青連	東信		
理事	全国大会実行委員会 委員長	ミヤザキ シュンキ 宮崎 淳貴	北信木青連	北信		
	会団長	ミヤザキ シュンキ 宮崎 淳貴	北信木青連	北信		
	コラボレーション推進委員会 副委員長					
	木育創造委員会 副委員長	タムラ ヒロカズ 田村 紘一	東信木青連	東信		
	木材活用委員会 副委員長	ミヤザキ 啓 宮澤 遥	北信木青連	北信		
	全国大会実行委員会 副委員長	ミムラ リョウ 峯村 亮	北信木青連	北信		
	全国大会実行委員会 副委員長	シバウラ イチヨシ 澁澤 一吉	北信木青連	北信		
	全国大会実行委員会 副委員長	ナカザワ カツナリ 中澤 勝成	北信木青連	北信		
	全国大会実行委員会 副委員長	サカタ ショウゾウ 坂田 庄蔵	北信木青連	北信		
	全国大会実行委員会 副委員長	ミヤザキ 薫 宮澤 薫	北信木青連	北信		
	全国大会実行委員会 副委員長	オオクラ シュンスケ 大藏 俊介	松本材青会	中信		
	総務委員会 副委員長	タカ ヒロアキ 田中 俊章	東信木青連	東信		
	総務委員会 副委員長	コバヤシ トシノブ 小林 寿徳	東信木青連	東信		
	委員	コラボレーション推進委員会 委員	オガサワラ トシキ 小笠原 稔起	松本材青会	中信	
		木育創造委員会 委員	ナカジマ アキラ 中嶋 章	東信木青連	東信	
		全国大会実行委員会 委員	ヤマザキ ヤスオ 山崎 泰雄	北信木青連	北信	
		全国大会実行委員会 委員	サイトウ アツシ 齋藤 篤	東信木青連	東信	
		全国大会実行委員会 委員	オオラ ヒロヒコ 大和 俊英	松本材青会	中信	
		全国大会実行委員会 委員	イシガミ ミチカズ 石亀 道一	松本材青会	中信	
全国大会実行委員会 委員		サハラ テルヒコ 佐原 輝彦	松本材青会	中信		
総務委員会 委員		イケダ ツヨシ 池田 剛	松本材青会	中信		

令和5年度 理事予定者会議開催(案)

日 時 令和 5年 4月 8日 (土)

場 所 長野県林業センター 5階会議室

スケジュール	正副会長・事務局予定者会議	13:00 ~ 13:20
	理事予定者会議	13:30 ~ 15:30
	全国大会実行委員会	15:40 ~ 16:40
	懇親会	17:30 ~

令和5年度 県会員東信大会開催(案)

日 時	令和 5年 5月 13日 (土)	
場 所	佐久一萬里ホテル	
スケジュール	新旧正副事務局会議	14:00 ~ 14:20
	令和4年度 臨時理事会	14:30 ~ 14:45
	令和5年度 臨時理事会	14:50 ~ 15:05
	定時総会	15:30 ~ 16:30
	式典	17:00 ~ 17:30
	大懇親会	17:30 ~ 19:30
登 録 料	10,000円 (全員登録)	

青壮年部会設置に向けた検討の経過報告

- 22.05 ◆(株)第三木材の「島田直政」氏から、県木連宮崎理事長への相談
「長野県木青連の会員が減少している」この課題を解決して、木青連の組織の強化と活動の活性化を進めたい。そのため県木連の組織内に「青壮年部会」を設置できないか検討してほしい。
- 22.07 ◆木青連役員会の意見
組織など整理しなければならない課題はあるが、青壮年部会の設置を希望するとの結論
- 22.08 ◆県木連正副理事長会で検討
「島田」氏の相談に関する木青連の考え方を聴き、今後の方向性をともに考えるため、木青連執行部との意見交換を開催する。
- 22.09 ◆県木連理事と木青連執行部との意見交換会
青壮年部会設置検討委員会（仮称）を設置して、組織化に向けて検討することに決定
委員は、県木連【麦島副理事長、柴田専務、松本事務局長】
木青連【田村会長、宮崎会長代行、島田次期日本木青連会長】
- 22.11 ◆第1回青壮年部会設置検討委員会
組織化に向けた基本事項（性格・目的・会員・活動）の検討
- 22.12 ◆第2回青壮年部会設置検討委員会
組織化に向けた基本事項の方向性の決定、会員を対象とした青壮年部会（仮称）設置に関する意向調査の検討
- 22.12 ◆会員を対象とした青壮年部会（仮称）設置に関する意向調査の実施
- 23.01 ◆第3回青壮年部会設置検討委員会
意向調査結果及び青壮年部会（仮称）規約案の検討
- <予定>
- 23.02 ◆木青連役員会
- 23.02 ◆第4回青壮年部会設置検討委員会
- 23.03 ◆県木連正副理事長会
- 23.04 ◆県木連役員会
- 23.05 ◆県木連総会

青壮年部会【仮称】の設置に関する意向調査結果

23.01.16現在

1 調査対象事業者

調査対象事業者数 a	有効回答事業者数 b	回答率b/a
243	74	30.5%

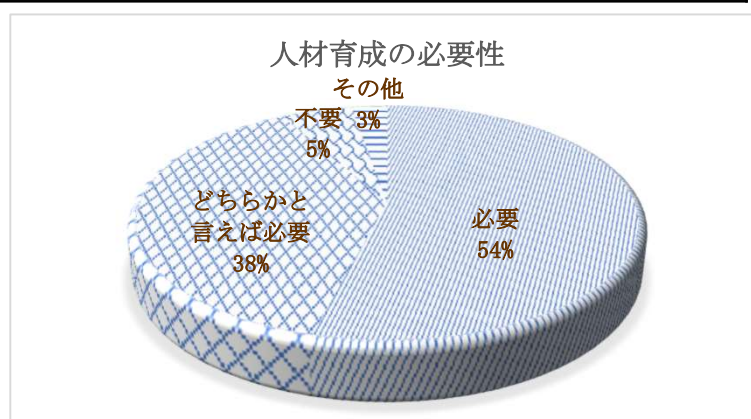
※1 調査対象事業者数は、木協組合員と業種別組合員との重複会員を除く221+32=243会員

※2 無記名による調査

2 調査結果

質問1 次代を担う人材育成を組織的に行う必要性

◆ 「必要」が54%と最も多く、「どちらかと言えば必要」が38%であり、合わせて92%が人材育成を組織的に行うことも必要と回答している。



◆ 不要の理由

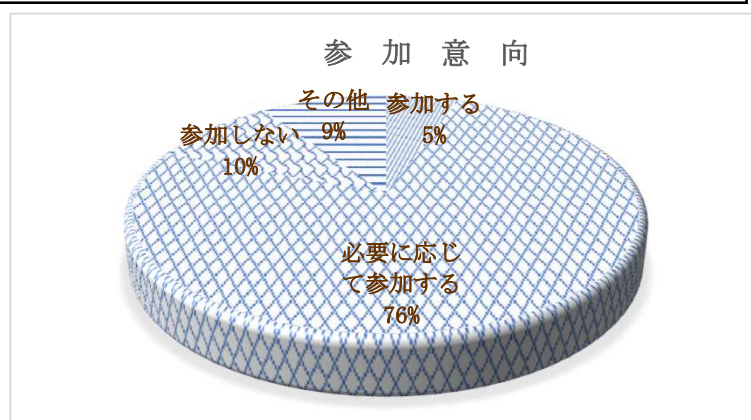
- ①組織ありきからスタートすることは不要
- ②現存する木青連とのかぶり感がある。
- ③木青連とは組織が異なる、木青連の事業を県木連に持ち込まない。
- ④20年前の価値観であきれている。
- ⑤後継者がいない。

◆ その他

- ①木青連の他に青壮年部会を必要とする理由が不明

質問2 活動への参加意向

◆ 「必要に応じて参加する」が76%と最も多く、「参加する」の5%を加えると、81%が活動への参加意向の意志を有している。



◆ 参加しない理由

- ①後継者がなく、数年で廃業予定のため <2>

②少人数の企業であり、人的・時間的に余裕がない。〈2〉

③高齢のため〈2〉

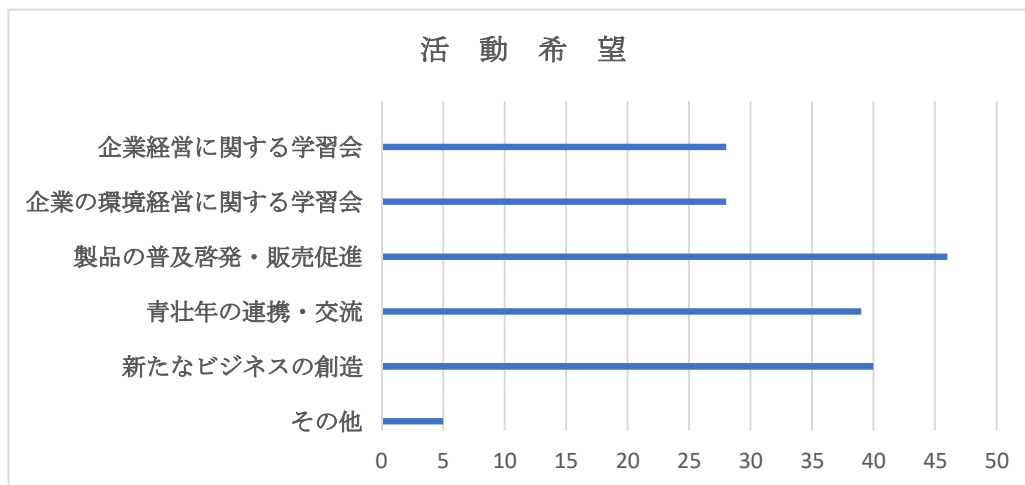
④もう団体で云々という時代ではない、今に世の中はもっと進んでいる。

質問3 希望する活動

◆「製品の普及啓発・販売促進」に関する活動が最も多く、次に「新たなビジネスの創造」の順であり、経済活動に直結する活動を希望している。

◆3番目が「青壮年の連携・交流」であり、絆づくりに対する期待も高い。

◆「企業経営に関する学習会」と「企業の環境経営に関する学習会」は、多くはないが一定数の希望者は存在している。



◆ その他

①新素材の開発

質問4 その他人材育成、活動に対する意見

(1) 木青連に関する意見

①会員の減少に歯止めがかからない木青連を何とかしなければならない。

②休会会団の復帰を強く、そのエリアの親会と県木連が促してください。

③木青連の活動を見るに方向転換の必要性を感じる。組織ありきや今までの活動に固執し過ぎている。全く新しい取り組みをする必要性があるのではないか。催し物に出店しての木工工作は主催者に利用されている感があるのでやめた方がよい。(例：スマホを利用した営業支援、ドローンの活用など若者の発想力に期待)

④これまでのような、飲み会メインで発展性がないような活動を行う組織に若者は参加しないので不要

⑤現在の木工コンクールの作品群は、およそ木工とは言い難いものがあるため、新たに審査基準を設けたらどうか。

⑥木青連を県木連に吸収するのであれば意味がない。

(2) 次代を担う人材育成に関する意見

【賛成】

①木材関連産業の継続性、連携強化のためにも次代を担う人材育成を強く望む。〈4〉

②経済活動を継続していく上で、組織的に行うことも必要

- ③青壮年部会の活動が各企業に利益をもたらし、今後の林業・木材関連産業の発展に寄与するのであれば、是非協力したい。
- ④木青連は経営者の後継者組織であるため、一般社員も対象にできる組織は必要
- ⑤木材産業は衣・食・住を担う大切な産業、次代を担う経営者の器を大きくする取組は極めて重要と認識
- ⑥今の時代多様性を求めるより、県木連を大きな柱として活動できる形にした方が良い。

【中庸】

- ⑦自由な参加から始めて、交流を深めていくと良いと思う。
- ⑧ダブルスタンダードとならないよう木青連活動とのすみ分けが必要
- ⑨木青連が主体的に行うべき。
- ⑩木青連と一本化できないか。
- ⑪早急に結論を出さずに、木青連の意見を尊重
- ⑫県木連が青壮年部会を設置するのではなく、定款第1条の目的を達成するため、人材育成や他団体との連携などにフレキシブルに対応できる専門部会の設置が望ましい。

【反対】

- ①県木連の組織内に青壮年部会を設置する必要性は感じるが、木青連との二本立ては反対
- ②新たな部会の設置は必要なし、木青連を部会の位置付けにして活性化することが肝要
- ③似たような組織が複数できるのは煩雑となる。いかがなものか。
- ④飲み会をやるための組織は不要

(3) その他の意見

- ①イベント等を通じて、建築物に木材を使用することの良さを、一般の方々に普及啓発してほしい。
- ②県産材活用のために川上・川中・川下の連携強化策を考えましょう。
- ③木材産業の魅力を発信してほしい。
- ④後継者のいない企業に対する支援協力を考え進めてほしい。
- ⑤昔に比べてパッとしない感じ、専門知識のない者が増えているように思える。

青壮年部会【仮称】の設置に関する意向調査結果を受けて

23.02.18 木青連役員会

1 調査結果

別紙のとおり

2 青壮年部会設置に向けての課題

◆青壮年部会【仮称】を設置した場合の木青連との棲み分け、関係性の整理

- ・青壮年部会【仮称】を設置するためには、木青連の将来の方向性を描く必要がある。

例1：会の目的、会員の違い、活動内容で棲み分けて、青壮年部会【仮称】と木青連の両組織を存続する。

例2：検討を重ね5年を目途に両組織を統合する。

- ・描いた木青連の将来の方向性（構想案）を根拠に、青壮年部会【仮称】設置の必要性まとめ、県木連役員会で検討を進める。

待ったなし、製材業界の人材育成 目立て業者の育成・確保も

赤堀 楠雄 (林材ライター)

林業産地において地元産の原木を主要な原料として、さまざまな製材品を製造している製材所を山元製材あるいは地場製材と呼ぶ。規模はおしなべて小さく、年間原木消費量は1,000m³前後から数千m³程度、比較的大きくても5,000m³程度といった規模感になる。そうした小規模工場の多くは経営環境が年々悪化しており、廃業するケースが後を絶たない。地場製材の役割と活性化策を考える。

製材所が減っている

農林水産省の統計によると、1980年代初めまでは全国に2万以上もの製材工場があった。しかし、1990年代以降、製材工場数は急速に減少し、2021年末時点の工場数は3,948工場と激減している(図)。減っているのは主に小規模零細工場で、それに対して大型工場は、工場数こそ少ないものの増加傾向にあり、シェアは年々高まっている。

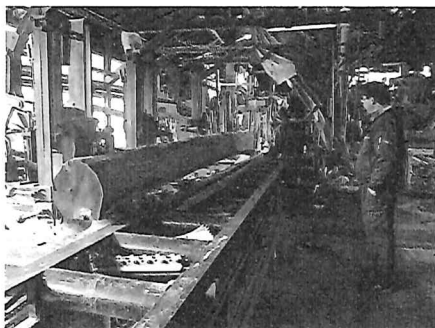
全自動タイプの製材機を備え、人工乾燥機を何基も導入した大型工場は、国産材製材品を安定供給することによって国産材の量的なシェア拡大に大きな役割を果たしている。しかし、木材のマーケットは大型工場が製造する規格品ばかりで成り立っているわけではない。

国内の製材工場数

1960年	24,229工場
1980年	22,241工場
2000年	11,692工場
2020年	4,115工場
2021年	3,948工場

※農林水産省「木材統計」

例えば、地産地消にこだわる大工や工務店が頼りにしているのは、多くの場合、地元の山から伐り出される丸太を挽いている地場製



アカマツタイコ梁の製材作業



土台用のクリ丸太

材であり、そうした製材所は顧客のさまざまな要望にきめ細かく対応している。

アカマツのタイコ梁であったり、クリの土台であったりといった製品は、もはや市場性はないに等しいと見る向きもあるかもしれない。だが、現実にもそれらが地場製材で挽かれて使われる場面はあり、それは地域の山の多様な資源を生かすことにつながっている。無節材を筆頭とする役物製品にしても、和室が減少して需要が激減したのは事実だが、ニーズがまったくなくなったわけではない。

それらの品々は木材に対するさまざまな嗜好の受け皿になっており、その製造主体である地場製材は、木材のユーザー層の裾野を広げる役割を担っている。最近、注目されている国産広葉樹にしても、品質にバラつきがあり、大量に調達するのは難しいという事情から、その加工を担っているのは多くの場合、小規模な地場製材であるという事実がある。

経営者が増えれば活気がみなぎる

「木材需給」という言葉が端的に示しているように、われわれはどうしても量的な尺度で業界の状況を捉えようとしがちだが、業界あるいは事業所の実力は量だけで評価できるわけではない。

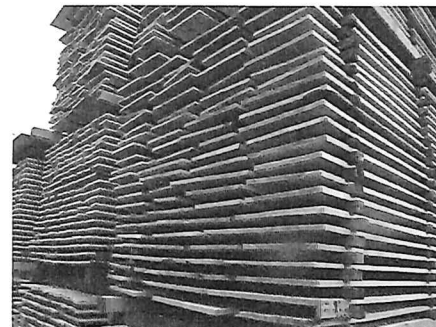
例えば、並材製品ばかりを製造している量産工場と役物製品を多く挽いている地場製材とでは、当然ながら製品の販売単価は異なる。後者の場合は、量は少なくとも単価は高いので、少ない量でも一定以上の売上が確保できる付加価値型の経営を展開していることになる。

役物製品のマーケットが激減している中でも、そのような経営を維持できているというのは、それだけ高い経営能力を有しているからだという見方もできる。少ない量でも多くの売上を上げ、利益を確保する。そういう実

力がみなぎる業界になれば、おのずと活気が出てくる。

そうした活気は、地域の木材業界で事業所の数を維持することでもたらされているとの見方もできる。経営者が多くいるから、と言い換えてもいい。

個々の企業が規模拡大を果たす、工場が大型化するというのは、マーケットの規模が変わらなければ寡占化が進行し、事業所数は減少に向かう。少数の企業がマーケットを牛耳るようになれば規格品の価格競争が誘発され、コモディティ化が進むことで業界環境が窮屈になる。業界の方向性を決めるための意思決定に際しても多様なアイデアが生まれにくくなる。



無垢の製材品にはさまざまなニーズがある



立木や丸太を消費者に直接販売することはできない。山の木を活かす上で製材工場は重要な役割を担っている

経営者になるのがいいか、従業員でいるの
がいいかの選択に優劣はないが、自らの判
断で物事を決定する経営者が多ければ、それ
は多様な価値観がぶつかり合い、切磋琢磨で
きる業界風土を培う。

製材版「緑の雇用」の実施を

だが、現実問題として小規模工場の減少に
は歯止めがかかっていない。魅力的で実力のある
地場製材は各地にまだ存在しているとはい
え、このまま手をこまねていては、上記
で私が挙げたような業界環境は望むべくもな
くなる。

それも社会情勢の変化や市場構造の変化に
よるものだからと論ず向きもあるかもしれな
い。だが、多様な木材利用を可能にしてユー
ザー一層の裾野を維持・拡大し、業界に活気を
みなぎらせるために少しでも手を打つことは
必要ではないか。

現状、大型工場の整備や育成にはさまざま
な公的支援が講じられているが、それに比べ
ると地場製材対策はいかにも手薄い。その第
一として、人材確保のための支援策がほとん
ど講じられていないことを指摘したい。

これは規模の大小にかかわらず製材業界全
体について言えることで、林業界では20年ほ
ど前から「緑の雇用」事業という新規就業促
進・人材育成のためのプロジェクトが国の支



地場製材の人材確保をどうするかは喫緊の課題だ

援事業として展開され、研修費名目での実質
的な賃金補助や各種研修の実施といった措置
が手厚く講じられている。しかし、それに対
して、製材業界の人材確保対策は個々の企業
に委ねられているのが実情である。

だが、大型工場ならある程度は自助努力で
の人材確保・育成が可能でも、資金力に乏し
く、経営に余裕がない小規模工場に同じこと
を自分の力でやれというのは厳しい。もちろ
ん、補助ありきの経営には賛成しかねるが、
森林資源をより良く活かす上で製材工場が重
要な役割を担っていることを考慮すれば、製
材版「緑の雇用」のような支援策が講じられ
てしかるべきだと思う。

同じ一次産業でも農業や漁業なら、野菜や
魚を一般消費者に直売し、料理して食べても
らえるが、林業では一般消費者に山の木を持
ち帰って利用してもらうことなど思いもよら
ない。山の木を生活者に広く利用してもらう
ためには加工セクターが健全に機能している
ことが不可欠であり、製材はその代表格なの
である。

林業の場合は、植林や下刈りなどの育林作
業、間伐に代表される森林整備作業は、それ
らの仕事が自然環境を健全化することにつな
がるのだという実感が得られやすい。そのた
め、環境問題に関心のある若者が自ら就業を
希望してくるケースも多い。

だが、製材の場合は、山の木を活かすとい
う役割を担っているにもかかわらず、そのこ
とがあまり一般的に認知されているわけでは
なく、環境意識の受け皿になりづらい実態が
ある。作業自体も、丸太の個性を見極めて最
適な挽き方を考える製材という作業にはとて
も魅力があると私は思っているが、その魅力
はすぐに実感できるものではなく、環境との
つながりもイメージしづらい。

そのため、新規参入の例は少なく、せっき
く入ってきても実感や認知に至る前に辞めて

しまうケースも多い。そもそも、多くの製材
所では今も「見て覚えろ」式での育て方が横
行していて、丸太の見方や製材技術を体系的
に効率よく学べるような環境は用意されてい
ない。これでは若い世代にやり甲斐を持つよ
うにと求める方が無理がある。

もちろん、製材業界に対してもハードの施
設整備などではさまざまな支援措置が講じら
れていることは承知している。しかし、それ
をハンドリングする人材が確保できなければ、
いくら優れた施設や機械でも無用の長物に
なってしまう。人材を確保して健全な経営を
展開できる製材所を増やし、業界の魅力を高
めるために、製材版「緑の雇用」が必要だと
訴えたい。それは地域林業の底上げにも必ず
つながるはずだ。

多くの工場が「目立て難民」に

最後にあまり顧みられないことだが、目立
て・研磨業界の弱体化による影響の深刻さを
指摘しておきたい。

精度の高い安定した製材作業・仕上げ作業
を日常的にこなしていくためには、帯鋸や丸
鋸、チップソー、モルダー、プレーナーなど
の刃物の目立てや研磨が適切に行われること
が欠かせない。

特に多くの地場製材がメインの製材機にし
ている送材車付き帯鋸盤（いわゆる「台車」）
の場合は、個々の工場によって帯鋸の目立て
の仕方に特徴があり、それを熟知した職人に
目立てをしてもらっていることで、安定した
操業が可能になっている事実がある。

帯鋸はただの平板な板に歯を付けただけの
ものではなく、高速回転や木材に接した時の
摩擦熱による伸びや膨張を考慮した形状に仕
上げる必要がある。それが「腰入れ」や「背
盛り」と呼ばれる処置のことで、腰入れとは
鋸の中央部をわずかに伸ばして湾曲させるこ
と、背盛りとは鋸の背（バック）の円周を刃



目立て業者の育成・確保にも取り組む必要がある

先の方よりも伸ばして長くしておくことを言
う。こうすることで高速回転による遠心力で
鋸が伸びたり、木材を切削する際の摩擦熱で
刃先が伸びても、あらかじめ伸ばしておいた
ところとバランスが取れ、安定した切削が可
能になる。

腰入れや背盛りの程度は、それぞれの工場
が挽く原木の種類や挽き方、さらには製材機
の癖によって微妙な調整が必要になり、目立
て職人はそれらを勘案して最適な鋸に仕上げ
ているのである。

その目立て業者が現在、全国的に減少して
いて、多くの地場製材が「目立て難民」とで
も言わなければならない状況に直面しつつあ
る。これまでは近場の目立て業者が頻繁に鋸
の回収・配達に訪れてくれていたのが、その
業者が廃業してしまうと、遠方の業者に自ら
鋸を持ち込まなければならなくなる。本業の
製材をおろそかにはできないから、持ち込む
頻度を少なくするには、その分、鋸の手持ち
枚数を増やさなければならなくなり、それに
よるコストアップも馬鹿にならない。

製材業界を支える目立て業者をどう確保・
育成するか。地場製材業界がこのような課題
にも直面していることが広く認識され、必要
な対策が早期に検討されることを望みたい。

北信木青連

会団長 坂田 庄蔵
副会団長 峯村 亮

4月	9日(土)	理事予定者会議	WEB	WEB
5月	14日(土)	令和3年度臨時理事会	WEB	WEB
		臨時理事予定者会議	WEB	WEB
		県木青連 定時総会	WEB	WEB
7月	1日(金)	北信木青連総会	長野	木協会議室
7月	9日(土)	第1回理事会	長野	長野県林業センター
7月	24日(日)	木工教室	大町・松川	国営アルプスあづみの公園
8月	20日(土)	第2回理事会	WEB	WEB
8月	20日(土)	全国大会実行委員会	WEB	WEB
8月	20日(土)	北信木青連会議	長野	さがみ
8月	28日(日)	ビアフェス	佐久	佐久市交流広場
9月	24日(土)	会議	WEB	WEB
9月	28日(水)	木工作品選定	長野	向陽不動産(株)
10月	7日(金)	木工審査会	塩尻	林業総合センター
11月	5日(土)	北信越地区協議会	WEB	WEB
11月	26日(土)	第3回理事会	長野	長野県立美術館
11月	26日(土)	木工表彰式	長野	長野県立美術館
1月	27日(金)	全国大会実行委員会	WEB	WEB
2月	4日(土)	北信越地区協議会	石川	
2月	13日(月)	北信木青連会議	長野	木協会議室
2月	18日(土)	第4回理事会	長野	長野県林業センター
2月	18日(土)	全国大会実行委員会	長野	長野県林業センター

令和4年度 東信木青連活動報告

会団長 小林 寿徳
副会団長 由井 正宏

4月 9日 県青連 理事予定者会議	Zoom会議
7月 9日 県青連 理事会	長野県林業センター
7月 24日 県青連 信州山の日2022 木工教室	国営アルプスあづみの公園
8月 20日 県青連 第2回理事会	WEBEX会議
8月 28日 ビアフェス木工教室	佐久市交流広場
9月 27日 木工工作コンクール 上小審査会	木協会館
10月 7日 木工工作コンクール 県審査会	長野県林業総合センター
11月 5日 日本木青連北信越協議会	長野県林業センター&WEB
11月 26日 長野県木青連 第3回理事会	長野県立美術館
11月 26日 長野県児童生徒・木工工作コンクール表彰式	長野県立美術館
令和5年	
1月 27日 役員選考委員会 全国長野大会実行委員会	WEBEX
2月 4日 北信越協議会会員金沢大会	石川県金沢市金沢東急ホテル
2月 18日 県青連 第4回理事会 全国大会実行委員会	長野県林業センター

令和4年度松本材青会活動報告

会団長 田中 一興

副会団長 石亀 道一

4月 9日 (土)	長野県木青連理事予定者会議	WEB
4月 14日 (木)	松本材青会 役員会	国興
5月 9日 (月)	松本材青会 役員会	国興
5月 14日 (土)	長野県木青連 定例総会	WEB
5月 28日 (土)	日本木青連 全国会員北海道大会	北海道札幌市
5月 31日 (火)	定例総会	書面議決
7月 8日 (金)	長野県木青連 令和5年度準備会議	上田
7月 9日 (土)	長野県木青連 第1回理事会	長野
7月 24日 (日)	長野県木青連 信州山の日 木工工作教室	国営アルプスあずみの公園
8月 5日 (金)	日本木青連 法人化協議部会	松本
8月 20日 (土)	長野県木青連 第2回理事会	WEB
9月 30日 (金)	木の小椅子セット納品	松本市
10月 4日 (火)	松本材青会 木工工作コンクール審査	国興
10月 5日 (水)	松本材青会 定例会	松本
10月 7日 (金)	長野県木青連 木工工作コンクール審査	長野県林業総合センター
10月 19日 (水)	全国大会実行委員会 打合せ	WEB
10月 24日 (月)	手づくり工作キット イス(ミニ)納品	松本市 波田商工会
11月 5日 (土)	北信越地区協議会	長野県林業センター/WEB
11月 26日 (土)	長野県木青連 第3回理事会	長野県立美術館
	長野県児童生徒・木工工作コンクール表彰式	長野県立美術館
1月 27日 (金)	役員選考委員会	WEB
	全国会員長野大会実行委員会	
2月 4日 (土)	北信越協議会会員 金沢大会	石川県金沢市
2月 18日 (土)	長野県木青連 第4回理事会	長野県林業センター
	全国会員長野大会実行委員会	